

会 報

第161号
(2004年10月)



関西ハーモニカ連盟

KANSAI Harmonica Association

関西ハーモニカ連盟
会報 第161号(2004年10月号)

発行部数 350 毎年4, 7, 10, 1月に発行(送付はそれぞれ前月中下旬)

関西ハーモニカ連盟 組織 2004/5月12日現在

理事長 仲村 眞 〒545-0005 大阪市阿倍野区三好町2-6-10
☎06 6624-5606 FAXも同じ

副理事長兼事務局長

田中 祥雄 〒610-1127 京都市西京区大原野上里鳥見町14-20
☎075 331-1033 FAXも同じ

副理事長兼編集局長

吉村 則次 〒591-8008 堺市東浅香山町3-104-5 201
☎072-251-9398 FAXも同じ

事業部長 飛田 保雄 〒611-0031 宇治市広野町寺山17番地の79

☎0774 41-6568 FAX 0774 43-3789

研修部長 白鳥 達夫 〒577-0842 東大阪市大連東2-9-12

☎06 6728-7951 FAXも同じ

組織部長 大石 喜一郎 〒567-0074 茨木市新郡山2-31-35

☎0726 41-2087 FAXも同じ

会計部長 後藤 貞男 〒596-0005 岸和田市春木旭町36-17

☎0724 41-0552 FAXも同じ

部長・局長を除く常任理事とその担当(五十音順)

姉川敏彦(事業)、新井善久(事務)、今井康郎(編集)、入江章次(編集)、岡村貞彦(研修)

金川 一(編集)、楠 陽児(編集)、田代敏胤(編集)、寺村安雄(事業)、西本豪介(研修)

梁木 進(事業)、吹上晴彦(研修)、保理江元子(事業)

理事(五十音順)

青木 聡、新井尚子、稲垣裕子、井上純一、今井倫子、梅田恒弘、岡谷秀喜、織田太郎、
金丸寿夫、神戸栄一郎、木谷悦子、久保田 隆、小林由美子、斎藤正勝、坂川重雄、坂本吉丸、
酒巻勇二郎、笹山恵司、園 真佳、高阪他美子、田口幸輝、谷口昌子、辻田鑛三、筒井松太郎、
出村佳津男、戸田秀徳、中川敬一、中西康四郎、西田幸司、畑 婦美子、林 一義、藤本 勇、
松川義明、宮本一男、村上浩一、村田 潤、もり・けん、山村信彦、山森ふさ子、吉見 治、
吉見 忠、渡辺 昇、和谷篤樹

会計監査 村上博昭

常任顧問 酒井涼爾、吉森正隆、板村忠重

特別顧問 森本恵夫、齋藤壽孝、徳永延生、和谷泰扶

入会のご案内 組織部長

入会費1000円、年会費(1-12月)個人会員5000円、地域外個人会員5000円、

賛助会員(業者)10000円

ハーモニカが好きでなかなら、吹くかた吹かないかた、上手なかた下手なかた、上手に
なりたいかた、ニュースだけほしいかた等、どなたでも入会できます。関西地区以外のか
たは「地域外個人会員」となります。入会金と年会費をお近くの郵便局から次の指定振
替口座に振り込みください。振込払込票の通信欄に「入会申込」と記入してください。

郵便振替口座 00950-6-115527 加入者名 関西ハーモニカ連盟

会員名簿(氏名、住所、電話番号)は原則として公表いたしますが、本人からの申し出に
より住所と電話番号は公開しないことができます。

9月までに途中入会の方には、当年度(4月号以降)のバックナンバーをお送りします。
10月以降入会のかたは、特に申し出がない場合は、翌年度入会の取り扱いとなります。

本誌では、特別顧問を除く会員の敬称を省略しております。ご了承ください。

関西ハーモニカ連盟 会報 2004/10月号 目次

表紙 ジュニア・オーケストラ アジア太平洋大会香港にて
裏表紙 オーストリアのラーキルヘンのHグループの旗

編集局

第15回関西ハーモニカ祭り(10/16土曜日奈良県大和郡山市)ご案内	事業部	3
森本恵夫氏の演奏を含む今年の南大阪ハーモニカ祭りご案内	M i O H A S	4
宇治ハーモニカ・スクール創立15周年記念コンサート	飛田 保雄	4
ハーモニカ・カレンダー(行事の実績と今後の予定)	編集局	5
10月以降の研修会のお知らせ	研修部	8
加藤悦子、梁木進、園友栄等が優勝、第5回西日本Hコンテスト	事業部	9
喜びの優勝者の写真		10
優勝者の言葉		11
ジュニア・ソロ部門 園友栄、クロマチック・ソロ部門 加藤悦子		11
複音部門、毎日の練習の積み重ねが良かったのか〜 梁木 進		13
デュエット部門 ダブルS・九州、小アンサンブル部門 トリオO Z		14
大アンサンブル部門 ドラゴン7		16
都クロマチック・ハーモニカ・クラブ・ホームコンサート	川本 建治	12
香港の夏は暑かった、アジア太平洋ハーモニカ大会香港2004報告	事業部(吉村)	17
関西からの出場者の活躍、コンテストの結果		
写真ページ 参加者、コンテスト、ホーム・コンサート等	事業部	19
第5回アジア太平洋ハーモニカ大会に参加して	姉川 敏彦	23
各国からの出場者に会える国際ハーモニカ大会	吉村 則次	25
課題曲の楽譜公開(クロマチック及び複音)	事業部	29
クロマチック 1回 歌 VILLAGE VOICE 複音 奮進 GUMPTION		
シグモンド・グローブ氏と再開	姉川 敏彦	35
ベテランの味發揮、ハーモニカ演奏半世紀以上=京都新聞	編集局	36
とっておきの話(33)多くを学んだ香港アジア大会 特別顧問	森本 恵夫	37
リクエスト方式で演奏会(8/18堺女性大学教養講座)	吉村 則次	39
加藤悦子氏等が入賞、F I Hジャパンコンテスト(6/6)の結果一覧	編集局	40
ハイライトはラーキルヘンコンサート(オーストリア旅行(6/5~21))	吉村 則次	41
写真 インスブルック・コンテスト、ラーキルヘン・コンサート等	吉村 則次	45
ハーモニカが上達する為の大切なこと(18)、ミニ・モニにHを教える	池田 輝樹	47
もり・けんがハーモニカ賞=朝日新聞記事	編集局	48
写真ニュース=日本H芸術協会コンサート、みんなのHコンサート等=	編集局	49
N H K神戸文化センター慰問演奏	村上 浩一	51
新しいハーモニカC D 香港大会で買ったもの	吉村 則次	51
青嵐の過ぎたる空へハーモニカ	大石喜一郎	54
複音ハーモニカの魅力、倍増	木下加奈美	55
四方ハモ話	光野利一郎	56
平成16年前半の記録	大石喜一郎	57
関西ハーモニカ連盟のホームページをご覧になりましたか?	梁木 進	58
ドボルザークの「家路」がカラオケで。お薦めのカラオケC D	吉村 則次	58
渋川小に友情のハーモニカ贈る=京都新聞記事	姉川 敏彦	59
会員異動のお知らせ	組織部長	60

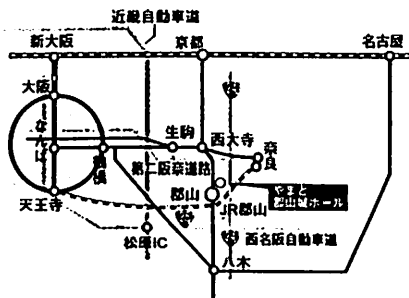
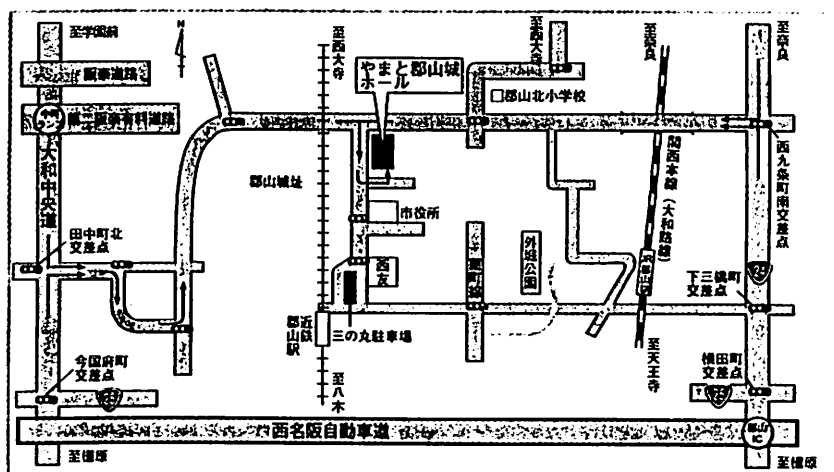
同封物 第15回関西ハーモニカ祭りプログラム

次号(2005/1月号)の原稿締め切りは、11/5(金)、発行は12/6(月) 総会招集通知

誌面の都合により、ハーモニカをHと表示している場合があります。

関西ハ一モ二力連盟 事業部

来賓の挨拶、ゲストの演奏は大ホールで2時半か3時頃になります。その間小ホールは休憩します。



徒步15分

やまと郡山城ホール



やまと郡山城ホール

TEL 0743-54-8000 / FAX 0743-54-8001

第6回南大阪ハーモニカ祭り ご案内

MiOHAS (南大阪ハーモニカ・ソサイアティ)

特別ゲスト 森本恵夫先生

前号でもご案内いたしましたように、MiOHAS(南大阪ハーモニカ・ソサイアティ)主催の「第6回南大阪ハーモニカ祭り」を次のとおり開催いたします。

今回は、著名なハーモニカ演奏家であり、数々のCDもリリースされているおなじみの森本恵夫先生を特別ゲストとして、下記のとおり開催いたします。

大いにご期待ください。

日 時 11/7 日曜日 11:00am開始

前半は一般愛好者及び団体の演奏で、後半は森本恵夫先生の演奏とします。

場 所 いつもの堺市総合福祉会館 6階ホール (442席)

堺市南瓦町2番1号 南海高野線堺東下車徒歩10分 電話072-222-7500

主 催 MiOHAS (南大阪ハーモニカ・ソサイアティ) 代表者 吉村則次

問い合わせ 梁木 進 FAX 072-286-4890 9/30まで演奏申し込み受付中

吉村則次 FAX 072-251-9398

来場者一人500円程度のご拠出をお願いします。障害者及び高校生以下のかたは無料
終了後会場向かいの2番街という喫茶店を借り切り、懇親会を開催します。ご参加ください。有料。申し込み先着順。

宇治ハーモニカスクール

創立15周年記念コンサート

飛田 保雄

日 時 平成16年10月10日 日曜日 午後1時開場 午後1時30分開演

場 所 宇治市文化センター小ホール

主 催 宇治ハーモニカスクール

後 援 宇治市、宇治市教育委員会、全日本ハーモニカ連盟

日本ハーモニカ芸術協会、ニッポン・ハーモニカ・クラブ

関西ハーモニカ連盟、宇治市音楽連盟

出 演

第1部 宇治ハーモニカスクール会員による独奏、合奏

第2部 ゲスト出演

ハーモニックス大阪、クライン・バルトゥ・カルテット

西日本ハーモニカコンテスト入賞者

世界チャンピオン

森本恵夫、齋藤壽孝、和谷篤樹、あらいなおこ

フランスよりクロード・ガーデン

問い合わせ 飛田 保雄 0774-41-6568

==ハーモニカカレンダー==

2004-8-21現在

スペースをセーブするため、ハーモニカをHと表示している場合があります。

演奏者、演奏会の名称、会場、問い合わせ先の順に掲載

敬称は、省略しております。

編集局

- 5/21 金 KHFハーモニカサロン、第3回楽しいハーモニカコンサート
府立文化情報センター 主催 関西ハーモニカフレンズ
- 5/29 土 寺村安雄「平和を選ぶ私達」講演会ゲスト演奏 大阪市本町商工会館
- 5/30 日 エコーズ・グリーン六甲 ファミリーコンサート 垂水勤労市民センター
- 5/30 日 第36回みんなのハーモニカコンサート 主催 関西Hポップス合奏団
阿倍野区民センター小ホール 写真p49
- 6/6 日 F I H(世界ハーモニカ連盟日本支部)コンテスト 東京 成績はp40
- 6/10~13(木~日)第8回国際音楽祭(INTERNATIONAL WORLD MUSIC FESTIVAL)
(アコーディオンとハーモニカの大会) オーストリアのインスブルックにて
アコーディオンとハーモニカのコンテスト、演奏会、セミナー等
特別顧問森本恵夫氏、吉村則次ほか3名合計5名が参加 記事p41写真p45
- 6/10 木 堺市老人福祉センター 五教室合同ハーモニカコンサート 堺市総合福祉会館
- 6/12 土 京都 東海道ハーモニカ・リレー・コンサート 京都アバンティホール
- 6/12 土 寺村安雄 知的障害者更生施設「わららか」 堺市総合福祉会館
- 6/14 月 西日本コンテスト委員会
- 6/19 土 徳永延生 クロマチック集中セミナー
東京渋谷区アーデン山中ビューティアカデミー専門学校
- 6/25 金 寺村安雄ライブ「コーヒー館」堺市御池台2-11-12
- 6/27 日 日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会主催コンサート
南海高石駅前 高石市 アブラホール 写真p49
- 6/29 火 西日本コンテスト 委員現地打ち合わせ会 びわ湖ホールにて
- 7/2 金 南大阪H有志 堺市湊駅前東通り商店会主催七夕まつりコンサート 写真p49
- 7/4 日 徳永延生 チャリティ・ライブ 大阪曾根崎新地 ミスター・ケリーズ
- 7/5 月 連盟研修会 五線譜と数字譜 講師 白鳥達夫
- 7/10 土 寺村安雄及び堺市東老人福祉センタークラブ 堺市ベルアモール
- 7/11 日 もり・けん 日本ハーモニカ賞を祝う会 ホテル阪神 主催 H.U.N企画
- 7/12 月 常任理事会
- 7/18 日 第5回西日本ハーモニカコンテスト びわ湖ホール小ホール
入賞者一覧p9及び写真p10
- 7/18 日 徳永教室発表会及び徳永延生リサイタル 大正区大正アゼリア
- 7/19 祭 ソフィア堺アンサンブル及び吉村則次 めぐみ会ピアノ発表会ゲスト演奏

大阪市立弁天町市民学習センター

8/4 水 13:30 もり・けん こころのきょうばん 子守唄コンサート 共演 岩井ゆき子

大阪市立こども文化センター

8/4~8 (水~日) 第5回アジア太平洋ハーモニカ大会 香港 ホンコン文化センター

関西から10名が参加 関連記事p17~、写真p19~

8/16 月 ハーモニカ祭り委員会 プログラム決定

8/18 水 吉村則次 堺女性大学教養講座ハーモニカ演奏と話 堺市堺女性大学ホール

8/21 土~28土 もり・けんと行くモンゴル文化交流の旅

8/27(金)~29(日) 和谷泰扶クロマチック・セミナー 大津市琵琶湖畔のぞみ荘

和谷泰扶、竹内直子、和谷麻里子 28日14:00 コンサート

8/28 土 寺村安雄ほか 第6回音楽見本市 クレオ大阪西

主催 ミュージシャンクラブ関西

8/28 土 徳永延生 ジャズ・サマー 大津市しがぎんホール(滋賀銀2F)

主催 しがぎん経済文化センター

8/29 日 エコーズ・グリーン六甲 合同発表会 神戸オルビスホール

8/29 日 12:00 寺村安雄ほか 第9回たのしいサマーコンサート

高槻市立総合市民交流センター 主催 日本音楽家ユニオン関西ULGK

9/6 月 連盟研修会「楽しい音楽クイズ」と「香港大会報告演奏」講師 吉村則次

9/11 土 第7回浜松1泊2日ハーモニカセミナー

リズム・トレーニング、音の跳躍、ビブラート 講師 徳永延生

浜名湖 館山寺サゴロイロヤルホテル 主催 古橋Hサークル

9/11 土 和谷泰扶京都教室 2004年秋期入門クラス開講 全4回 8名限定

京都市下京区興正会館

9/15 水 吉村則次 京都府立洛南寮(老人介護施設)の敬老会で演奏

京都府知事、京田辺市長も臨席 30分

9/19 日 寺村安雄 大阪南部歌声合唱発表会 大阪市天王寺区民センター

9/20 祭 大東アンサンブル 大東市敬老会 サーティホール小ホール

9/26 日 徳永延生 秋のハーモニカコンサート 三田市白い絵本 079-568-0997

10/1~3 エコーズ・グリーン六甲 親睦旅行 問、西田 078-453-6478

10/2 土 木谷悦子 ミュージアム・コンサート 大阪音楽大学音楽博物館 無料

申し込みFAX、往復はがき、ホームページで 大阪音楽大学音楽博物館

案内前号p24参照

URL <http://www.daion.ac.jp/> FAX 06-6865-1221 TEL 06-6868-1503

10/4 月 連盟研修会 シンコペーション 講師 白鳥達夫

10/9 土 尼崎ハーモニカエコーズ たのしいハーモニカ発表会

10/10 日 1:30pm 宇治ハーモニカスクール創立15周年記念コンサート

宇治市文化センター小ホール 問、飛田 0774-41-6568 案内p4

- 10/12 火 13:00 第3回都クラシックHクラブ、ホームコンサート
京田辺市山口寿子宅 問、0774-22-5160 川本 案内p11
- 10/16 土 11am 関西ハーモニカ祭り 奈良県大和郡山市やまと郡山城ホール
p3の案内参照 問、飛田 0774-41-6568
- 10/17 日 京田辺のハーモニカグループ 京田辺市民音楽祭 同志社講堂
- 10/17 日 和谷泰扶リサイタル 弦楽四重奏とともに 東京、浜離宮朝日ホール
- 10/24 土 音楽検定試験 主催 財団法人音楽文化創造 後援 文部科学省
全国各地で実施、問、03-5256-2766 音楽文化創造
当関西ハーモニカ連盟でも9/6説明会・研修会・模擬テストを実施
- 10/29 金 寺村安雄と泉ハーモニックス 狭山市立南第二小学校6年生対象
- 10/30 土 関西ハーモニカポップス定期演奏会 吹田市メイシアター中ホール
- 11/1 月 連盟研修会 和音の初歩 講師 白鳥達夫
- 11/7 日 南大阪ハーモニカ祭り 森本恵夫リサイタル 堺市総合福祉会館
主催 MiOHAS 問、吉村 072-251-9398 案内p4
- 11/14 日 堺女性大学ハーモニカコース 堺市芸能百華に出演 堺市民会館
- 11/15 月 11am 関西Hフレンズ、楽しいハーモニカコンサート
大阪府立文化情報センター 問、大石喜一郎 072-641-2087
- 11/20 土 寺村安雄と泉ハーモニックス 狭山市立南第三小学校全校生徒対象
- 12/4~5 吉村則次 串本ロイヤルホテル 軽音楽グループZAZAとともに
- 12/10 金 7~9pm 寺村安雄 奥様フォーラム 八尾市プリズムホール
- 12/13 月 三田ハーモニカエコーズ 三田市高齢者大学Hクラブ
ジョイントクリスマスコンサート
- 12/20 月 エコーズ・グリーン六甲 クリスマスコンサート 芦屋市上宮川センター
- 12/24 金 伊丹ラスタクリスマスコンサート
- 12/25 土 エコーズ・グリーン六甲
尼崎総合文化センター・クリスマス・コンサート発表会

2005/

- 1/30 日 徳永教室発表会と徳永延生リサイタル 大正区アゼリア大正
- 5/30 日 F I Hジャパン主催コンテスト 東京
- 6/26 日 日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会コンサート
神戸文化ホール中ホール（地下鉄大倉山すぐ、JR神戸から歩10分）
- 11/2~6 水~日（未確認）ドイツ トロシゲン 世界ハーモニカ大会(F I H)

2006/

- 8/3~6 第6回アジア太平洋ハーモニカ大会 台湾にて

連盟主催の研修会についての詳細は、白鳥達夫 06-6728-7951にお問い合わせください。

10月以降の研修会開催のお知らせ

研 修 部

第5回 2004/10/4 月 6:30~8:30pm

◎シンコペーション

最近若い人向けの曲ばかりか、子供向けの曲にまでシンコペーションが多用。
どうすれば征服できる？

第6回 2004/11/1 月 6:30~8:30pm

◎和音の初歩 必要最小限の和音のへの理解、簡単な和音進行のルール

講師 白鳥 達夫

1、場 所 医療法人 福田診療所 2階 友遊館

537-0021 大阪市東成区東中本1-4-17 電話 06 6974-2220

(地下鉄中央線緑橋4号出口すぐ、見取り図は下記のとおり)

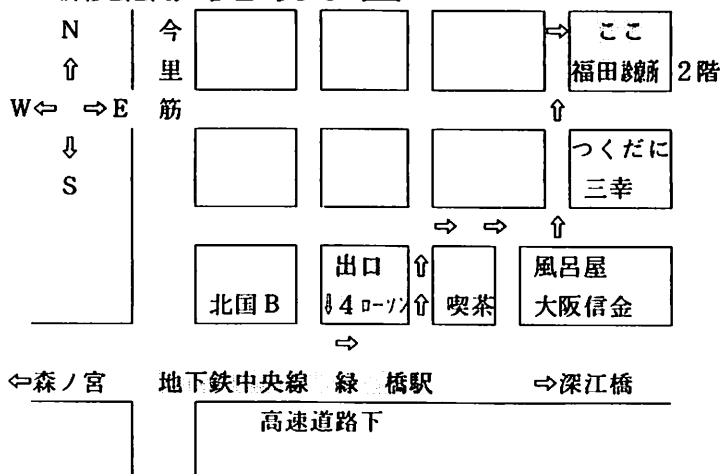
2、費 用 運営費、場所代及び資料印刷代として、各回1人500円

3、必要なもの 各種ハーモニカ、筆記用具等

4、8pmからミニ・コンサートを開きます。ご準備ください。MDプレーヤーあり

5、問、研修部長 白鳥 達夫 電話 06 6728-7951

研修会会場 見取り図



第5回西日本ハーモニカコンテスト入賞者

2004-7-18 日曜日 滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

理 事 長

カテゴリー、出場者数、順位、氏名(出身地)、作曲者名、曲名の順

I ジュニア・ソロ部門 5名

- | | | | |
|----|------------|-------|----------------|
| 1位 | 園 友栄(大津市) | フォスター | 夢見る人 |
| 2位 | 浦部 元子(京都市) | 宮城道雄 | 春の海 |
| 3位 | 岸元 彩(西宮市) | ビゼー | アルルの女から「メヌエット」 |

III クロマチック(クラシック)ソロ部門 11名

- | | | | |
|----|-------------|------------|--------------|
| 1位 | 加藤 悦子(西宮市) | ジェームス・ムーディ | アンブロンブチュ |
| 2位 | 金城 武生(京都市) | パガニーニ | カンタービレ |
| 3位 | 大石 喜一郎(茨木市) | ジェームス・バーンズ | オートム・ソリロクイ |
| | 上田 恭子(京都市) | A. ララ | スペイン風幻想曲グラナダ |
| | 宮崎 久美(茨木市) | ガブリエル・マリー | 金婚式 |

(3位が3名である理由は僅差で優劣がつけ難いとの理由で審査員団の要請があった為です)

IV クロマチック・(ジャズ・ポピュラー)ソロ部門 1名

該当者なし

V 複音(トレモロ、オクターブ)ソロ部門 19名

- | | | | |
|----|---------------|--------|-----------------|
| 1位 | 梁木 進(堺市) | 佐藤 秀廊 | 田園素描中の「村祭」と「野花」 |
| 2位 | 佐藤 俊美(大分県臼杵市) | ロシア民謡 | 行商人 |
| 3位 | 杉山 健二(福岡市) | 杉山 長谷夫 | 「出船」夜想曲 |

VI デュエット(ハーモニカだけ2人の演奏)部門 3組

- | | | | |
|----|------------------|------------|-----------|
| 1位 | ダブルS・九州(大分県・宮崎県) | ヨハン・シュトラウス | ベルシャン・マーチ |
| 2位 | シルバー・スター(滋賀県) | エドワード・エルガー | 愛のあいさつ |
| 3位 | プリンス&プリンセス(大阪府) | マトス・ロドリゲス | ラ・クンパルシータ |

VII 小アンサンブル(3名以上6名以下)部門 4組

- | | | | |
|----|-----------------------|-----------|------------|
| 1位 | トリオOZ(オズ)(代表堺市) | ダニエル・パーチェ | La Pioggia |
| 2位 | ラスタ・グリーン・カルテット(代表神戸市) | イワノビッチ | カルメン・シルバー |
| 3位 | フレンディーズ(代表山口市) | 滝 廉太郎 | 荒城の月 |

VIII 大アンサンブル(7名以上)部門 2組

- | | | | |
|----|--------------------|------------|-------------------|
| 1位 | ドラゴン7(セブン)(代表大津市) | 平岡精二・Eマチアス | 輝く青春(学生時代・恋心)メドレー |
| 2位 | 宮崎ハーモニカアンサンブル(宮崎県) | フォスター | フォスター名曲メドレー |

IX フリー・ソロ部門 1名

特別賞 入江 章次(高槻市) 浜口庫之助 夜霧よ今夜も有り難う

審査員

- | | |
|------------|-------------------------------------|
| (委員長) 斎藤壽孝 | 当連盟特別顧問(全日本ハーモニカ連盟理事長) |
| 森本恵夫 | 当連盟特別顧問(プロ・ハーモニカ奏者) |
| 和谷泰扶 | 当連盟特別顧問(プロ・ハーモニカ奏者) |
| 白鳥達夫 | 当連盟研修部長(NHK大阪文化センター、朝日カルチャーセンター等講師) |

第5回西日本
ハーモニカコンテスト
優勝者

左から
ジュニアソロ 園 友栄
複音ソロ 梁木 進
クロマチックソロ 加藤悦子



デュエット
ダブルS・九州

小アンサンブル
トリオOZ(オズ)



大アンサンブル
ドラゴン7(セブン)

ジュニア・ソロ部門で優勝して

園 友栄

私は平成12年の夏からハーモニカを習い始めました。満8歳でした。

きっかけは、お父さんとおばあちゃんが習っていて、吹いているのに興味を持った時、おばあちゃんがフォークソング用のクロマチックハーモニカをくれました。それで遊んでいたらお父さんに、「一緒に習ってみるか。」と言われて習い始めました。また、同じ町内に住むグループにも入りドラゴン7としてボランティア活動もするようになりました。

淡海ハーモニカクラブの教室では複音ハーモニカを習っているが、姉川先生に個人レッスンでクロマチックハーモニカを習って約2年後、第4回西日本ハーモニカコンテスト・ジュニア・ソロ部門に出場して、「ガボット」を吹きました。ステージ上で結果発表を聞き、入賞できなくて悔しく思ったのが、頭から離れませんでした。

その2年後の今年、姉川先生に課題曲「夢見る人」の楽譜を3月頃にいただきましたが、4月から中学生になった私は部活動でふだんの練習も十分にできなかったけれど、月2回の姉川先生の指導を受けました。「お姉ちゃんピアノ習ってはるんやろ、ピアノ伴奏を頼んでみたら？」という先生の案で、伴奏はお姉ちゃんがピアノを弾いてくれることに決まりました。少しの時間でも気になる所はすぐに練習できたので私は恵まれていました。

この曲で苦勞したのは、初めてクロマチックハーモニカでオクターブを吹く事と、装飾音でした。

私は、コンテスト当日ものすごく緊張していました。リハーサルの時も緊張していて、音ミスをいっぱいしていたので本番が不安でした。舞台裏で自分の番を待っている時、早く終わらないかな、と思っていました。そして、本番。ステージに出たとたん足が、ガクガクとして震えていました。吹き終わった瞬間ホッとして頭が真っ白になりました。結果発表が一番最後なので、早く結果を聞きたかったです。

結果発表の時すごくドキドキしていました。3位、2位と発表されていく中、私は今年も入賞できなかったのかと思いました・・・。

「1位は、夢見る人を・・・」と聞いた時、すごくびっくりして半分信じられませんでした。ステージ上で賞状と盾をもらった時、めっちゃ嬉しかったです。でも、私は家に帰っても優勝したという実感があんまりなかったけど、次の日起きてすぐに賞状と盾を見た時やっとう実感しました。本当に嬉しかったです。

姉川先生には、感謝しています。ありがとうございました。私の目標は先生のようになる事です。これからできる限り練習を重ね、頑張ろうと思います。

クロマチック・ソロ部門 優勝

加藤 悦子

この度は、念願だった優勝をさせていただき、ありがとうございました。1位の名前が呼ばれた時、うれしいという思いと、ほっとした思いの半分半分でした。

2年前のコンクールの失敗から、様々な指摘をいただいたので少しでも良くなるように努めてきましたが、それまでに付いたいろいろな癖を、なかなか直すことができず焦る日々が続きました。

一音一音をていねいに吹いていこうとすると、反対にメロディの流れがぎこちなくなってしまうたり、毎日繰り返して練習していても目立った変化が感じられず、飽きてしまった

りしたからです。コンクールが近づくにつれて「これでいいのだろうか」と絶えず不安感が伴っていました。

コンクールが終わった今でもそれは同じで、毎日練習していてもイメージ通りに間違いなく演奏することは難しく、思うようにできていません。

ノームスで自分自身が気持ちよく演奏できるようになることと、聞いてくれる人も楽しく幸せな気持ちになれるような演奏をすることが私の当面の目標です。

長いようで短い2年間でした。これからも楽しみながら色々な曲にチャレンジし、私らしい音色を探していきたいと思っています。

最後に、これまで指導して下さった小林由美子先生、和谷泰扶先生ならびに、応援して下さった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



第三回都クロマチック・ハーモニカ・クラブ主催
ピアノ、CD、MD伴奏による
ホーム・コンサート
出演者募集中

日 時 2004年10月12日(火) 午後1時開演
場 所 京田辺市花住坂3-19-12
山口寿子自宅 TEL. FAX 0774-68-2048
JR松井山手駅徒歩10分
連絡先 川本建治 0774-22-5160

都クロマチック・ハーモニカ・クラブ主催
ホーム・コンサート

都クロマチック・ハーモニカ・クラブ
代表者 川本 建治

今年の夏も熱帯夜が続き、やっと朝夕が涼しくなって来ました。

ハーモニカ祭りが近づいて来ましたが、クロマチック・ハーモニカ愛好者の皆様いかがお過ごしですか。

5月18日(火)第2回ホーム・コンサートが、姉川敏彦先生をゲストにお迎えして、9名の参加者が有り、クラシック、歌謡曲、ポップス、ジャズ、一人一人個性の有る素晴らしい演奏を聞かしていただきました。

ゲスト出演の姉川先生は、ハーモニカライフにおきまして、豊かな経験と和谷流の音色、リズム感、切れ味が有り、アンコールでは複音ハーモニカの勝れたテクニックを披露していただき、クラブ員一同緊張感と感動を覚えました。

ご多忙中、参加していただき、大変嬉しく思っております。

第3回ホーム・コンサートは、~~別ページに掲載のとおり~~ 10月12日(火)京田辺市の山口寿子自宅で行います。

すばらしいコンサートにしたいと思っております。

スタッフ一同頑張りますので、多数の参加をお願いします。

毎日の練習の積み重ねが良かったのか～

複音部門優勝 梁木（はりき） 進

このたび、はからずも「第5回西日本（にしにつぼん）ハーモニカコンテスト」複音部門で第1位を受けることができ、3回目の挑戦にして誠にうれしく思う。

コンテストはやはりコンテスト向きの曲を吹かなければ駄目だと言われた。演歌、ナツメロ、叙情歌、カラオケ演奏、等コンサート向きの曲ばかり演奏をしてきた自分はコンテストでは勝てないだろうと半分あきらめていた。今回は3回目の挑戦で佐藤秀廊先生作曲「田園素描の中の”村祭り”と”野花”」を選んだ。

この曲を決めたのは昨年の11月ごろであった。西田先生に楽譜に強弱をつけて頂き、そして毎日少しずつ練習をした。”村祭り”は早いテンポでやや難しいので後回しに、先ず”野花”から始めた。この曲はきれいな旋律をキープしながらの分散和音が難しかった。”村祭”はテンポ、アクセントと強弱の表現が point だったので佐藤秀廊先生のcdを繰り返し聞きながら練習した。

コンテスト1か月前に東京の二人の先生にテープを送り指導を受けた。そこで重大なミスが数か所指摘された。1. ダブルタッキングができていない、2. 21 穴のハーモニカでは音が1つ足りない、3. もう少しフレーズを考えて、4. オーバーな表現をせずに全体の流れを大切に指導された。早速佐藤（さとう）先生のプロフェッショナル 22 穴のハーモニカを購入し最後の仕上げにかかった。

過去2度のコンテストではいずれも自分が入賞出来なかったが、前回はそうであった様に今回も5位の発表があれば、もしかして自分も呼ばれるかもしれないと楽観的に考えていた。西田先生の個人指導を受けた高坂他美子さんの仕上がりが良くできていたので前回2位の佐藤俊美さんと高坂さんは1、2の勝負をするだろうと思った。

自分は本番では落ち着いて演奏ができた。しかし佐藤俊美さん（前回2位）はやはり上手と思った。高坂他美子さん（前回3位）、宮本さん（前回3位）、中西さん、妹尾さんの演奏も気になった。ノーマークであった杉山さん園さん、そして”お祭りマンボ”を演奏した門前さんも良くできていた。

関西ハーモニカ連盟のホームページの管理人である自分は掲載用の写真を撮らなければならなかったのが結果発表中複雑な気持ちだった。複音部門の成績発表でいきなり3位の発表だったので自分の出番はないとこの時点で諦（あきら）めていた、2位は佐藤さんだったので優勝は高坂さんかと思っていた時に司会者が”田園素描”といった言葉をかすかに聞こえた、その後恐らく”演奏をした梁（はり）木（すずむ）進（すすむ）”と言ったはずだったが後の言葉が全く聞こえなかった。手に持っていたカメラは誰（だれ）に渡したのかわからなかった程無我夢中だった。こんな感激は今までありませんでした。非常に大きなタイトルをちょうだいした事、本当にありがとうございました。

毎日の練習の積み重ねが大きな成果となって勝利したと思う。しかし間違った事を気づかずに幾ら練習をしても駄目だという事も今回のコンテストで勉強させられた。

これからは1位に恥じない演奏をせねばなりません。より良い演奏を目指し練習に励みたいと思う。皆様のご指導宜しくお願いします。

「名前を早く言わないで!」、これは成績発表を待つ時間、ドキドキしながら念じた思いです。発表は第3位から始まり、第2位のときには心臓がはちきれんばかりになりました。そして最後に名前を呼ばれたときは、顔面笑みで一杯だったと思います。

私たちダブルS・九州は、結成3年目。宮崎と大分の二人が一緒になったのは、特に理由はありませんが、自分たちの力を高め、試してみたいという思いがあったからです。ですから二人の目標はコンテスト入賞です。

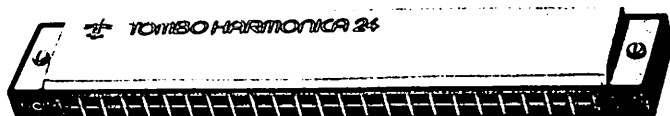
2年前の第4回西日本コンテストのときは、佐藤&妹尾の名前で初めて挑戦しました。しかし、デュオの部門はたった1組の参加だったのに成績は第3位。愕然としました。そのときの曲は『オリエンタルダンス』。実力がなかったとあっさり認めました。

それから2年後を目標に二人の苦労が始まりました。まず曲選び。厚木のチェリーズのメンバーが吹き、F I H (全日本) で優勝したことのある『ベルシアンマーチ』にすることはすぐ決まりました。軽快でオリエンタル風の心地よさがあります。またメロディは2本、伴奏は3本のハーモニカを巧に吹きこなす難しさに挑戦したいと思いました。メロディの佐藤が苦労したのは、上下のハーモニカを素早く吹き替えるところで、唇と舌を切ったことは何度も。伴奏の妹尾は、複音ハーモニカより幅の広いオクターブハーモニカ2本とそれよりも幅も長さもあるビネタを一緒に持つことは難しく、手が滑り音が外れそうになりました。

しかし、何と言っても二人がお互いに合わせること、楽譜でいうと縦の線を合わせるといことはなかなか会えない二人は苦労しました。宮崎と大分は隣県ですが、JR特急に乗っても3時間30分かかります。機会を作り行き来しましたが、会うことができるいろんな機会に、どんな場所でも、例えば駐車場でも、お宮でも、ビルの階段上でも吹けるところを見つけては猛練習をしました。

今回の二人の演奏はお互いに満足のいくものではありませんでしたが、優勝は夢にまで見たものです。二人は今回の受賞をバネに今まで以上に精進し、今度は全国へ挑戦しようと思います。2~3年後には、いい結果を出したいと思います。

最後になりましたが、主催者・実行委員の方々には本当にお世話になりました。コンテストという大行事には、私たちが想像できないご苦労があったと思います。ありがとうございました。



西日本ハーモニカコンクール小アンサンブル部門に優勝して

トリオ Oz (オズ)

バス 加納 克芳

クロマチック 加藤 悦子

コード 田口 史朗

私たち「Oz」が、このコンクールに臨むのは、第4回に引き続き2回目のチャレンジになります。

前回のチャレンジについては、第3位という結果でしたが、「インドの歌」という3拍子の難しい曲で臨んだうえに、グループとしても結成2年目で、バス・コードも結成後から練習を始めたということから、個人としての技術面もアンサンブルとしてもかなり無理があった中、第3位と順位を得られただけでも嬉しく思うと共に、アンサンブル、特に「トリオ」の難しさを痛感しました。

「小アンサンブル部門」の優勝については、私たちを指導して頂いている先生らで結成されている「クライ・ヴァルト・カルテット」の優勝の後、優勝者が出ていないことを聞いていましたので、今回の私たちの優勝は夢のような感じで、その嬉しさは未だに実感がわいていないところですが、この優勝が本当のことであれば、それはやはり、今回演奏した「雨」という曲を小林先生から「Oz」のオリジナル曲として頂いたことが大きかったことは「Oz」のメンバーそれぞれが確信しているところです。

この「雨」という曲はバスの軽快なベース回しと歯切れの良いコードとでリズム感を出し、クロマチックに気持ちよさそうにノリノリでハーモニカを吹いてもらい「さわやかな雨」というイメージを出せるように練習してきたのですが、リズムパートもかなり難しく、なかなか軽快感を出すことができず、「重たい雨」になっていました。

また、メンバーそれぞれの仕事が違うこと、クロマチックを担当している加藤さんがF1Hに出場すること等から練習時間の調整が困難で、実際メンバー揃っての練習は月に2回できれば良い方で、当然に個人個人の練習が主となりましたが、何とか「重たい雨」を改善し軽快感を出すため、リズムパートを担当する「2人だけの練習」も幾度と無くやってきたように思います。

このような状況でしたので、小林・吉見両先生がおられるハモニ館での練習は最重要であり、中身の濃い指導をしていただきました。

ハモニ館での練習は、それぞれの個人練習により、それぞれのパートで若干の進歩を感じて練習に行くと、毎回、さらなる無理難題を突きつけられるというもので、各パートのバランスの重要性・アンサンブルの深さを感じさせられるものでした。

ですから未だに納得のできる「雨」ができていないのではないかと、というのが本音で、今回の優勝を本当に夢のように感じている次第です。

私たち「Oz」は、先生方に指導をいただいて以降、「クライ・ヴァルト・カルテット」の弟分として育てていただいております、今後、「雨」を完成させることはもちろん、先生方のようにレパートリーを増やして、いろいろな演奏会等に積極的に参加して音楽活動を展開していきたいと思っております。

大アンサンブル部門優勝をして

ドラゴン7代表 園 真 佳

今回が2度目の挑戦でした。2年前には初挑戦で第3位を頂きましたが、その時には二位が該当無しでした。ただ単に出場者の中で順番を決めるのではなく、各順位には一定の基準があるということをメンバーの皆がその時知りました。従って、今回の挑戦前には「せめて前回よりは一つでも上を」という思いと同時に「そんな甘いものではない」という思いも持っていました。今回優勝させていただき本当に嬉しい気持ちがいっぱいですが、同時に「今後さらに精進していかなければ」という賞の重みをヒシヒシと感じております。そしてご指導いただいた姉川敏彦先生に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

ドラゴン7は同じ町内(大津市竜が丘)に住んでいる7人グループで、メンバーの中には親子孫の3世代がいます。姉川先生が平成10年8月に始められた「淡海ハーモニカクラブ」に2名が通いかけ、1年後に入ってきた3名と共にドラゴン5を結成し、その翌年(平成12年)にあと2名が加わり7名が揃いました。小学生の時に吹いたかどうかというメンバーが姉川先生の指導を受けている間にハーモニカの魅力に引き込まれ、他のアンサンブルグループの演奏を聴いているうちに自分たちでもアンサンブル演奏がしたくなり、いつの間にかハーモニカ教室の後に個人レッスンとしてアンサンブル指導を受けるようになりました。ボランティアなど人前での演奏も、年に15～20回程させていただくようになり、練習量も増えるようになりました。今回の出場に向けて練習で心懸けたことは、ソプラノ・アルト・バス・コードの音のバランスに注意したことです。姉川先生に、「もちろんそれぞれ自分のパートを正しくきれいに吹くことは大切だが、アンサンブルは全体のバランスが非情に大切である」と指導を受け、努力を重ねて参りました。バス・コードは聞かせどころ以外では脇役に徹すること(ソプラノ・アルトを引き立てるように演奏し、出過ぎないこと)、またソプラノ・アルトもそれぞれバランスを考え演奏すること、この教えを出来る限り忠実に守り演奏することを心懸けました。

私達「ドラゴン7」は先にも書いたように同じ町内に住んでおり、大声で呼べば聞こえるような所に家があるので、メンバーが集まりやすい環境にあります。現職の者(私)と中学生(娘)の日程にメンバーの皆が合わせてくれて練習がしやすいので、今後も出来る限りボランティア演奏をしたり、その他の演奏会に参加し、より一層力をつけていきたいと思っています。そしてメンバーの中でいろんな組合せをし、3人バージョン・4人バージョンなどの演奏もしていけたらと考えております。

メンバー皆が、インターネットのホームページ(ハーモニカアンサンブル「ドラゴン7」)に載せている「♪♪～ハーモニカ演奏機会与えられ進歩していく我が身喜ぶ～♪♪」という言葉を胸に、声をかけていただいたところには出来る限り演奏に出向いていきたいと考えております。最後になりましたが、受賞写真には「ドラゴン7」のメンバーはセブンと言いながら6人しか載っておりません。実はメンバーの1人が急遽出られなかったのです。今回ただ一つ残念だったことです。

音楽は、音を楽しむと書きます。聴いていただく方はただ楽しんでいただけたらよいのですが、私達はハーモニカを通して音を楽しむと同時に、音の作り方や演奏法等を学び(音学)、楽しんでいただけるよう努力していきたいと思っていますので、皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。



第5回アジア太平洋ハーモニカ大会香港 事業部（吉村）

関西からの出場者の成績

関西からは、コンテストに出なかったもの3名を含め、10人が参加した。
うちコンテストに参加したもの7名の成績は次のとおりであった。

◎クロマチック・ソロ・オープン

優異奨状(Certificate of Honour) 姉川敏彦(予選通過)

良好奨状(Certificate of Merit) 吉村則次、大澤晶子

◎複音ソロオープン

優異奨状(Certificate of Honour) 梁木 進、岡村貞彦、宮本一男

良好奨状(Certificate of Merit) 高阪他美子

◎シニア部門(この部門には順位賞はなく、評判特別大奨=審査員特別賞のみがあった。

全出場者21名のうち4名が受賞)

評判特別大奨(Jury Award) 姉川敏彦、吉村則次

優異奨状(Certificate of Honour) 高阪他美子、宮本一男、岡村貞彦

注 卓越奨状(Certificate of Excellence) 90点以上

優異奨状(Certificate of Honour) 80~89点

良好奨状(Certificate of Merit) 70~79点

評判特別大奨(Jury Award)の受賞者の姉川敏彦と吉村則次には、ハーモニカを型どった
ガラス製トロフィーが贈られた。

演奏曲目(自由曲)は次のとおりであった。

姉川敏彦 ジェームス・ムーディ ロンド・ロココ

吉村則次 モーツァルト 歌劇「魔笛」より、復讐の心は地獄のようにわが胸に燃え
フォーレ シシリアーノ

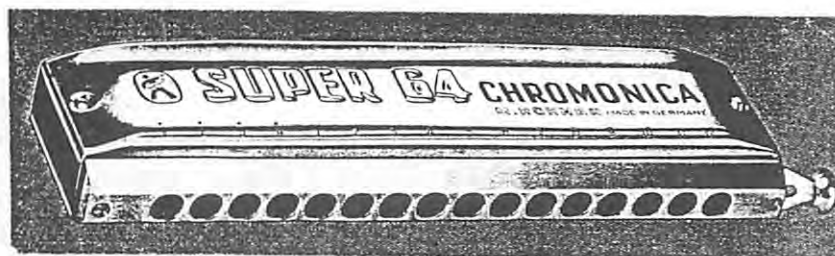
大澤晶子 リスト ハンガリア狂詩曲

梁木 進 佐藤秀廊 田園素描

岡村貞彦 ブラームス ハンガリアンダンス5番

宮本一男 ブラームス ハンガリアンダンス4番

高阪他美子 滝廉太郎 荒城の月



**日本は完全に劣勢、特に合奏
香港と台湾が光る、若年では中国か
各国のハーモニカは若年者の世界**

部門別コンテスト出場者数(欠席者及び辞退者の数を含む＝プログラム掲載者総数)
(マレ＝マレーシア、シンガ＝シンガポール)

	総数	日本	香港	台湾	中国	韓国	マレ	シンガ
クロマチック・ソロ	57	6	28	6	5	4	5	3
複音ソロ	58	12	20	5	12	8	1	0
テンホールズ	18	1	9	2	1	2	3	0
二重奏	29	0	17	6	2	2	1	1
三重奏	26	0	6	6	4	5	4	1
小アンサンブル(4~8人)	29	2	12	8	2	1	3	1
大合奏	14	2	6	2	2	1	1	0
他の楽器との合奏	3	0	3	0	0	0	0	0
シニア	21	11	2	2	4	2	0	0
合 計	255	34	103	37	32	25	18	6

	総数	日本	香港	台湾	中国	韓国	マレ	シンガ
ジュニア・クロマチック・ソロ・	75	1	46	12	4	9	3	0
ジュニア複音ソロ	129	1	16	32	58	22	0	0
ジュニア二重奏	55	0	15	10	27	3	0	0
ジュニア三重奏	31	0	1	8	15	5	2	0
ジュニア小アンサンブル	45	0	6	7	26	4	2	0
ジュニア大合奏	20	0	2	2	15	1	0	0
合 計	355	2	86	71	145	44	7	0

総 合 計 610 36 189 108 177 69 25 6

これをじっくり見ると、どこの国でハーモニカが盛んか、どこの国では何が盛んであるか、どの国では若年者がハーモニカに取り組んでいるか、がある程度はわかる。ただし、地元の香港が特に多いのは、参加するのに交通費とホテル代等がかからないということで、ある程度割り引いて考える必要があると思われる。

ジュニア部門の参加者数を見ると、その国の将来がわかるというものだが、日本はずか2で、うち稲川有徳はプログラムには載っていたが欠席、複音ソロ部門には、林家蓼(LIN CHIA MANG)というかたが日本からの出場者としてプログラムに掲載されているが、不明。

事実上日本からのジュニア出場者はゼロであったということか。

なお、関西のかたではないが、日本からの参加者のうちでは、複音部門で、神奈川県の岩間朱美が1位、柳川優子が2位をとったこと、及び札幌のグループが参加していたというのがせめての救いであった。

第5回アジア太平洋ハーモニカ大会香港



クロマチック部門に出場した左、姉川敏彦、右、吉村則次



複音部門に出場した、左から、梁木進、岡村貞彦、高阪他美子



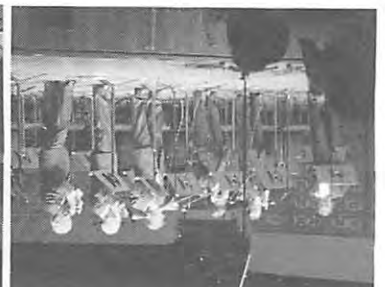
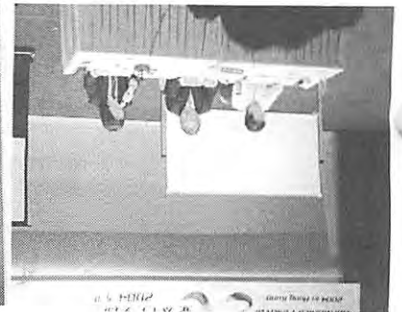
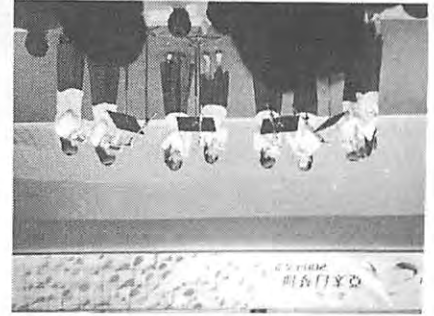
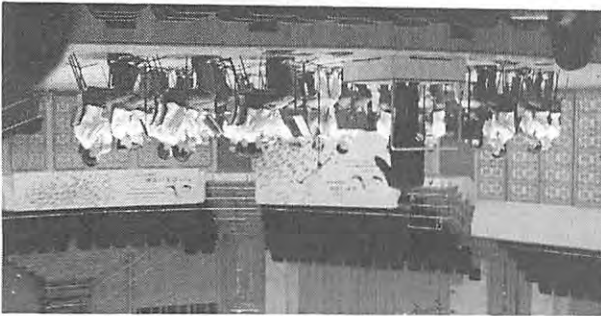
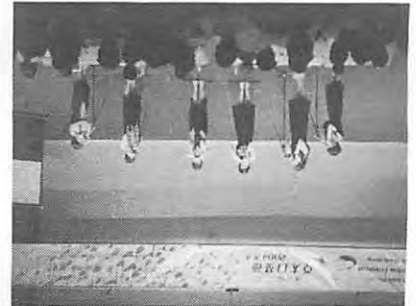
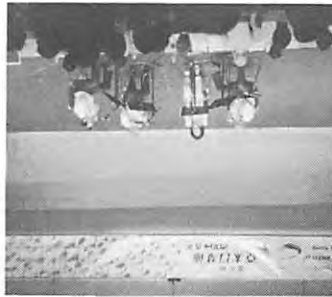
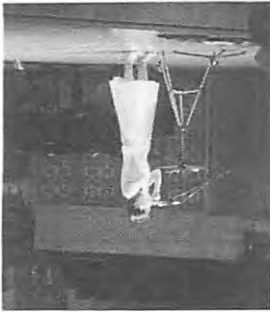
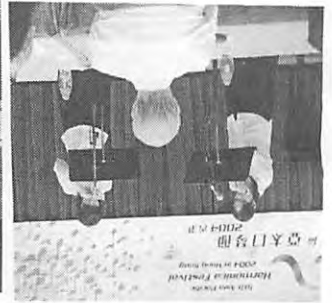
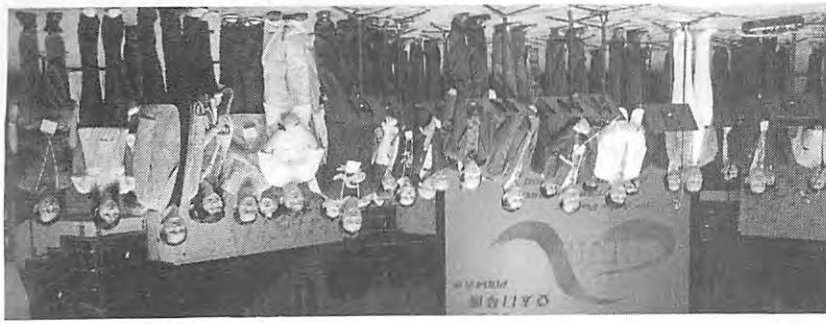
上、開会式、下、オーケストラコンテスト



クロマチック部門に出場した
大澤晶子



ほかに宮本一男が
コンテストに出場
しましたが、時刻の関係で
写真は撮れませんでした。



ワイ・ハン・ヘイさんの家の近くの海辺で



ワイ・ハン・ヘイさんの家でのホームコンサート



大変お世話になったワイ・ハン・ヘイさん



ヤムさん



ウォンさん

梁木 進

ワイ・ハン・ヘイさんの家でのホームコンサート



吉村 則次

姉川 敏彦



山本恭子と木口淑好

オープン
ステージで

上左から
姉川敏彦
梁木 進
梁木と高阪と松岡
吉村とワイさんデュエット



38

7 ② ② 7 ② ← 穴番号 → ② 7
5 ② ③ 5 ② ③ 5
6 ④ 6 ④ ← 意識ね舌の先 → ④ 6

猛練習の結果、日本から参加した中で唯一、私だけが予選通過者15名の中に入ることができた。15人のうち14人が20才代で、30から50才代がなかった一人60才代の年長者であった。実力の差はいかんともし難く1～3位までの入賞は逸したが、日本から参加した仲間の代表として決勝まで残れたことは幸運であった。

一方「シニアの部」では、60才以上で21人がコンテストに臨んだ。演奏する人たちの見事な演奏に圧倒されながら、19番目の演奏で出番は終わった。

結果、予想外の出来事で『第1位』を獲得することが出来た。

『評判特別大賞』の賞状とともに副賞のクリスタルガラスのずっしりと重いハーモニカを手にしたとき、今日まであたたかく指導してくださった和谷泰扶先生と奥様（麻里子さん）の顔が走馬燈のように駆けめぐり、明日からの次なるステップへのスタートが切られたような気がした。

来年はドイツ、再来年が台湾とのこと。これに出場するまでは私のハーモニカ練習は当分終わりそうにない。



全体を通じて気づいたこと（私たちの『ハーモニカ祭り』にも通じること）

見習うべき点

1. 多数のボランティアが一生懸命になって働いている姿。
2. 小学生、中学生、高校生、大学生、一般青年の参加人数の多いこと。国全体としてのハーモニカに対する勢いを感じた。数年後の日本のハーモニカが心配。
3. 会場・施設の立派なこと。
4. 会場内にゴミが一つも残っていないかったこと。
5. 言葉は通じなくても、笑顔と言葉かけを一生懸命にしてくれたこと。
6. 日本以外の人で『荒城の月』を演奏した人が非常に多かった。ということは、この曲の持っている芸術性、国際性の高さを改めて感じさせられた。

改良すべき点

1. ハーモニカのピッチの狂いが多くあり、せっかくの演奏が惜しまれた。
2. ソロの場合、絶対といっても良いほど生伴奏に限る。CD・MDは不利である。聴いていて音楽としての豊かさにかける。（返しの音がない）
3. コンテストだけでなくあらゆる場面で、演奏するはじめに出だしの音をさぐり吹きして、試し吹きをする人が意外と多かった。これは、ほかの音楽分野では考えられない状況である。ハーモニカの世界だけが許される問題ではない。
4. 演奏者の真剣な態度に対し、聴衆者の態度に問題あり。
 - ・靴音をさせて平気で場内を歩く。
 - ・フラッシュを点灯させての写真撮影。
 - ・大きな声で周りの人と話し合う。
 - ・鞆を開けるチャックの音。紙袋のガサガサした音。

グローヴンもブンゲもパワーも
ホー・ディア・イーも
世界のハーモニカ友達に会える
ハーモニカ大会

吉村 則次

私にとって、ハーモニカ国際大会の一番の楽しみは、世界からの多くのハーモニカ愛好者と会えることである。もちろんコンサートもセミナーもコンテストもいい。

今回は、掲題のような名演奏家が香港にやって来て、コンサートで演奏し、審査員に加わり、セミナーを行っていた。

グローヴンさんは京都で崎元譲さんと一緒に演奏されたときに会っているし、その後トロシゲンでもお会いしている。CDもたくさん買っている。ブレンダン・パワーさんには、トロシゲンやイギリスや大阪で親しくお会いしている。ポール・モーリア・オーケストラと共に大阪に来たときには、徳永教室発表会にもお出でいただき演奏をしてもらったこともある。ブンゲさんには、韓国大会やトロシゲン大会でお会いしている。厚木の大会にも来られている。

ホー(何)・ディア・イーさんには、大分古い話ですが、吉森正隆さんから紹介されて大阪でお会いし、その後関西ハーモニカ連盟(関西ハーモニカポップスだったか?)で北京に行ったときにホテルで家族ともどもお会いした。現在はニューヨークに住まわれていて、長いこと会っていなかった。当時子供だった娘さんにも会っていて、その後ニューヨークでピアニストになっているという噂を聞いている。

以上のような著名な奏者ではないかたでも、友人のニューヨーク在住の韓国系のチャーリー・チョンも来ると、直前に本人から連絡があった。韓国のリー(李)さんがいる、台湾のルー(盧)さん、同じく台湾の君ちゃんがいる、マレーシアのチョン(張)さんがいる。予想していなかったことですが、オーストラリアの友人ポール・ファーマーも来ていた。別に深く話さなくてもあいさつと笑顔だけでいい。狭い世界の中で、仲間に加え、元気にやっていることを知るのが楽しいのである。

世界各地の国際大会に参加していると、多くのかたと知り合いになる。これらのかたと親しく会えることがハーモニカ大会はスリリングなところで、私にとっては、行かずにはいられないものである。来年のトロシゲンも、再来年の台湾も、そういう訳で、またのこのこと行くことになると思う。

香港の友人ワイ・ハン・ヘイさんは、今回関西からの5人を家に招き、ホーム・コンサートを催してくださった。また「生きた魚や伊勢エビを買ってレストラン持ち込んで料理してもらって食べることに」にも案内していただいた。

出場者が多いコンテスト
がっかりシニアカテゴリー
しかし、姉川敏彦、吉村則次が
ガラス製のトロフィーを受賞

今回の香港大会では、シニアのカテゴリーを作ることを日本から要請し、それが実現できるということは以前から齋藤壽孝さんから聞いており、期待していた。私もすでにシニアの年齢なので、それなら出てみようかという気になっていた。

しかし、大会開催要領が公開されてみると、がっかり。それは、クロマチックとか複音と

かのカテゴリーの中にジュニアに対比してシニアの部門があるのではなく、シニアという一つの独立したカテゴリーがあって、年齢が該当すればだれでも出場でき、内容はなんでもいい、予選もなく、賞も1, 2, 3位というような順位賞はない、審査員賞のみということであり、権威のないものであった。クロマチックも複音もアンサンブルも種類の異なるものの優劣が同じ部門内で決められる訳はないと思う。

結果としてシニア部門には該当の国から21人が出場し、うち12名が日本人であり、審査員大賞の受賞者3名（姉川敏彦、吉村則次、トリオ巴）全員が日本人だったということで、「日本は若年者は少ない、シニアの天国」という印象を与えてしまったかも知れない。

日本では、特にシニア部門を設けなくても、一般のカテゴリーがすなわちシニア部門みたくて、若年層が非常にまれなわけであるが。

今回香港大会がシニア部門を設けたのは、主催者にとっては大きな意味があったのではないと思う。年長者を優遇したという実績を作った点において。

香港は、日本に比べ、一般的に年長者を敬うという気風が残っているのか、前号にも書いたように、65歳以上は地下鉄、バス、路面電車、ケーブルカーとも半額であった。空港バスでさえ半額。フェリーボートは無料。今回の大会の参加費もガラ・コンサートの入場料も高齢者には安くなっていた。

シニア部門の審査員大賞の受賞者3名も、他のカテゴリーの入賞者と同様に、名前を読み上げられ、ステージに上げられて、みんなの前で表彰して下さった。

みんな苦勞した課題曲 辞退した人もいたとか

今回のクロマチックおよび複音のオープン（年齢に関係なく、だれでも出られる部門をオープンという）カテゴリーには、課題曲が課せられていた。その楽譜は別ページに掲載のとおりである。

課題曲は、審査する側にとっては都合のいいものであろう。曲のむずかしさが同じだから、優劣を比較するのにやさしい。しかし課題曲も人によって不利有利がある。今回は課題曲は、このコンテストのために新たに作曲され、ほぼ同じ時期（開催2カ月前）に申し込み者に配布されたものだから、その点では有利不利はない。もし既存の曲を課題曲にすれば、その点ですでに人により有利不利は生じる。しかし、有利不利はないとはいっても奏法は各人異なり、曲の好みも異なる。具体的にいうとクロマチックでは、口先で吹くバックーと、大きくくわえて舌でブロックするタングブロックという二つの吹き方があり、この課題曲のように重音がある音楽は、私のようなバックーにとってはやりにくいものである。また、複音部門では、日本では通常は演奏されない演奏の方法を要求されていると聞く。

結論としては、課題曲はあったほうがいいと私は思う。自分の力のなさを、課題曲のせいにするのはおかしいと思う。同じ土俵で勝負するのだから、受け入れざるを得ない。

なお、課題曲の演奏見本（録音）はなく、楽譜がコンテスト申し込み者に6月中旬に送られて来ただけで、「各自楽譜を解釈して演奏しなさい」ということであった。一部譜面の解釈違いやごまかしをしているかたもおられたようだ。

みなさん別ページに掲載の課題曲を試してみてください。

オープンよりジュニアが多い！！

アジア太平洋大会のコンテストの一覧は、事業部による別の記事のとおりであるが、次の

ような特徴を持っていた。

◎ともかく大会の参加者、コンテストへの出場者が多い。全部で610件。クロマチックだけ、複音だけをとっても日本のコンテスト全出場者全員に匹敵する人数が出る。今回クロマチックオープンには57人、複音オープンには58人であった。ちなみに7月に当連盟主催で開催された西日本ハーモニカコンテストでは、すべてのカテゴリーの出場者総数で、45人・組であった。

◎出場者は、オープン部門よりジュニア部門の方が多かった。

◎ソロではない複数のものが演奏する二重奏、三重奏、アンサンブルの出場者数が多い。日本ではソロが多くアンサンブルは非常に少ないのに。

関西からの参加者もオープン・ステージで

事前に申し込んでおいたので、オープン・ステージの時間を45分いただきました。8月5日木曜日15時から15時45分まで45分間、多くの聴衆の前で、次のとおり演奏しました。

◎吉村則次

- 1 Theme from the movie Star Wars スターウォーズ
- 2 Island in the Shape of Gourd, ひょっこりひょうたん島
- 3 Star on the Earth, 地上の星
- 4 Kalinka, カリンカ

◎高阪他美子／松岡郁子

- 1 Duet 希望のささやき
- 2 Osaka Rhapsody 大阪ラブソディ

◎山本恭子／木口淑好／吉村則次

- 3 Edelweiss エーデルワイズ

◎姉川敏彦

- 1 ROKUDENASHI ろくでなし
- 2 Last Dance ラストダンスは私と

◎梁木 進

- 1 KANTO-HARUSAMEGASA 関東春雨傘
- 2 TOP OF THE WORLD トップオブザワールド
- 3 北国の春 (SPRING IN THE NORTH COUNTRY)

あれだけのことがよくやれた！

今回の大会は、主催者の中心が若い人であった。それはKing's Quintetのメンバーであり、香港ハーモニカ協会の役員である5人であった。非常に綿密な計画の上に実行された。組織がかっちりしていた。若いボランティアが多く動いていた。たとえば一つのコンテストの会場に対して、受付2～3人、入りの出入り管理に2人、審査員のアシスタント、司会、時間係、コンピューター係等が配置されていた。多くはYMCAからの若いボランティアだった。

経費面では、シニアを優遇（費用の減額）するなどの配慮もあり、参加者の負担は比較的軽いものであった。到底、大会参加費、コンテスト参加費、ガラ・コンサート入場料のみの収入だけでは、あれだけのものを到底できるものではない。

ガラ・コンサートの演奏者や審査員の謝礼はどうしたのだろうか。各コンテストには、7人ぐらいもの審査員がついていた。審査員はハーモニカ奏者だけではなく、プロフェッショナルな音楽家、作曲家もおられた。コンテストの入賞者には賞金が出ていた。最高は大アンサンブル優勝の1万ドル(=15万円)であった。出場者には成績に拘わらず賞状が出されていた。オープン・ステージで演奏したものには、デジタル写真を入れ込んだ感謝状が贈られた。入賞者にはガラスで出来たハーモニカを型どった高価なトロフィーが贈られた。

プログラムは、104ページの全カラーページの本であった。こんな本に自分の名前を見るのは気持ちがいいものである。

いったいこのようなことをやるために必要な金はどこから出たのか。香港政庁か、企業か。

プログラムによると、香港特別行政区行政会議、同民生事務局、同康樂及文化事務署(娛樂及び文化を担当)、香港中文大学、香港芸術發展局、香港青年協會、香港電台第四節目(ラジオ、テレビ局)、通利琴行等の名前が見えるから、そういうところから金が出たのかと思う。

そのうち企業は「通利琴行」(トム・リー音楽店)の1社のみである。

コンテスト出場者だけで610人・組であるから、アンサンブルの出場人数を延べで数えると1500人と言っていたが、プログラムに名前が載らない一般参加者を含めると参加者総数はどのくらいあったのだろうか。

2年前の厚木での大会もすごかったが、今回の香港のような豪華な、大規模のものは、これが最初であり、これが最後になるのではないだろうか、と思う。

これからの日本のハーモニカにとって、考えさせられることが多い大会ではあった。

素晴らしいハーモニカの世界が そこにはあった 井の中の蛙にはなるな

ハーモニカは素晴らしい楽器だ、努力し練習を重ねればあれだけの素晴らしい演奏ができるのだ、演奏者が集まればハーモニカだけでも音楽の世界が作れるのだ。

生き生きした目のハーモニカ愛好者がいた、これから上手になろうという子供たちがいた、長い協奏曲を譜面なしに演奏する出場者がいた、小学校や中学校の生徒にいい演奏をさせようとする先生がいた、日本では考えられない高度なアンサンブルやソロの演奏があった。自分が愛する楽器を楽しもうとする姿があった。香港大会に参加してそのように感じた。

日本では独奏が主体で、オレはうまいのだ、と感じている愛好者が多いように思う。本当の意味でのアンサンブル(重奏、室内楽、オーケストラ)は少なく、レベルの低いアンサンブルでも拍手を浴びている。

この素晴らしい世界に身を置いてみて、私はもう自分の出る幕はなくなったな、と感じた。それと同時に、私はこれからも続けてハーモニカの世界を愛し、努力を続けることになるだろうとは感じた。

今回は、2006年8月3日～6日台湾である。ぜひ多く行っていただきたいと思う。

そこには、再び日本にはないハーモニカの素晴らしい世界がある。

侗歌 Village Voice

麥偉鑄 Clarence Mak

Harmonica

$\text{♩} = 60$

$p < >$

f

$p < f$

$\text{♩} = \text{ca. } 120$

mf

4

ff

p

ff

10 $\text{♩} = \text{ca. } 90$

*(half slide)

12 *accel.*

mp

mf

mp

$\text{♩} = \text{ca. } 120$

19

mf

24 *rit.*

mp

p

$\text{♩} = \text{ca. } 90$

29

$\text{♩} = \text{ca. } 120$

ff

mf

31 $\text{♩} = \text{ca. } 90$

ff (** wide vibrato with hands) **mf** **mp**

38

43 **accel.**

mf **f**

$\text{♩} = \text{ca. } 120$

47 **mf**

51 **mf**

56 $\text{♩} = \text{ca. } 90$

p

58 **f** **ff** **mf** **rit.** **pp**

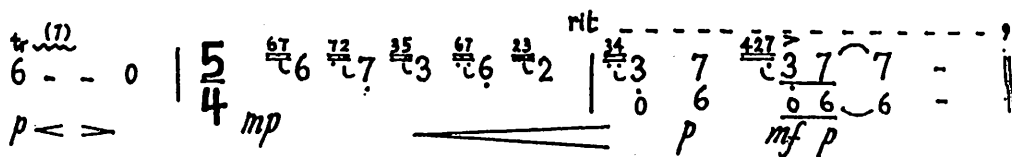
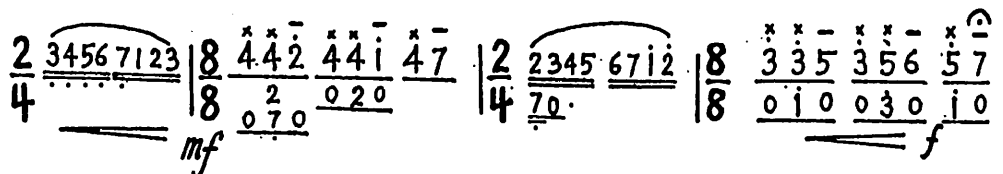
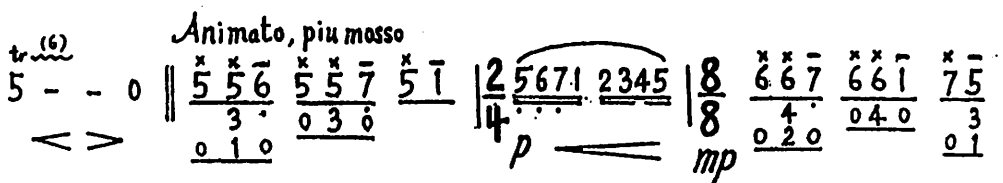
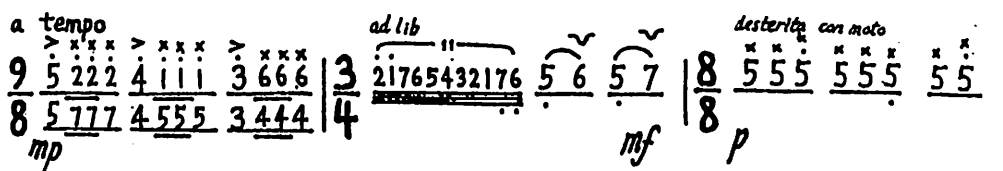
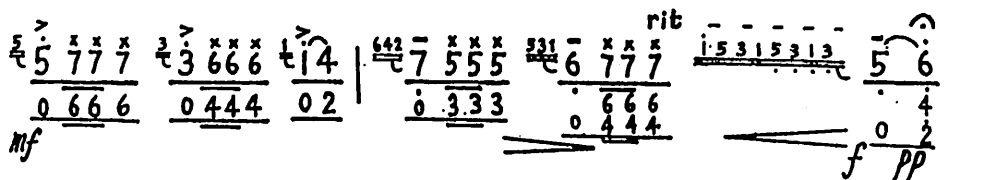
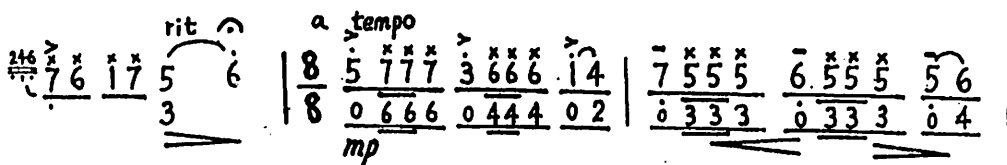
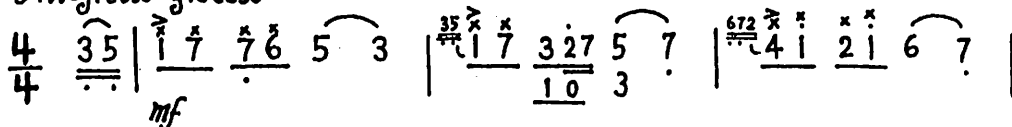
アジア太平洋大会
複音部門課題曲

奮進 Gumption

[harmonica in A is recommended]

許翺威
HUI CHEUNG WAI

Allegretto giocoso



~ bending note

Rubando

$$\begin{array}{r} \begin{array}{r} 4\overline{) 36} \\ \underline{36} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 4\overline{) 36} \\ \underline{36} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 4\overline{) 26} \\ \underline{26} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 4\overline{) 36} \\ \underline{36} \\ 0 \end{array} \\ mp \quad \begin{array}{r} 4\overline{) 46} \\ \underline{46} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5\overline{) 56} \\ \underline{56} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 6\overline{) 66} \\ \underline{66} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5\overline{) 54} \\ \underline{54} \\ 0 \end{array} \\ \begin{array}{r} 3\overline{) 34} \\ \underline{34} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 3\overline{) 34} \\ \underline{34} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5\overline{) 56} \\ \underline{56} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7\overline{) 7} \\ \underline{7} \\ 0 \end{array} \\ mf \quad \begin{array}{r} 3\overline{) 34} \\ \underline{34} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 3\overline{) 34} \\ \underline{34} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 5\overline{) 56} \\ \underline{56} \\ 0 \end{array} \quad \begin{array}{r} 7\overline{) 7} \\ \underline{7} \\ 0 \end{array} \end{array}$$
[illegible]
$$\begin{array}{r} \text{mp} \quad \left(\begin{array}{r} 8 \overline{) 8} \\ 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdot 1 \end{array} \right) \quad \left(\begin{array}{r} 0 \overline{) 2} \\ 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 7 \end{array} \right) \quad \text{piu mosso} \quad \frac{0 \overline{) 2} \cdot 4}{2 \cdot 6} \quad \frac{5 \overline{) 6} \cdot 7}{0 \overline{) 4} \cdot 4} \\ \text{mf} \quad \frac{9 \overline{) 5} \cdot 6 \cdot 7 \cdot 6}{0 \overline{) 4} \cdot 4 \cdot 4 \cdot 4} \quad \frac{5 \overline{) 6} \cdot 6 \cdot 5 \cdot 5 \cdot 7}{0 \overline{) 4} \cdot 4 \cdot 4 \cdot 4} \quad \frac{0 \overline{) 4} \cdot 4 \cdot 4 \cdot 4}{0 \overline{) 4} \cdot 4 \cdot 4 \cdot 4} \end{array}$$

Allegro con spirito

$$\begin{array}{c} \overline{35} \overline{67} \overline{13} \\ \overline{57} \overline{65} \overline{5} \\ \overline{51} \overline{75} \overline{5} \\ \overline{73} \overline{45} \overline{16} \\ \overline{2} \end{array} \quad \begin{array}{c} \overline{27} \end{array}$$

$\frac{2}{8}$ $\overset{3}{\text{—}} \overset{\circ}{\text{—}} \overset{\text{Am}}{\text{—}}$ $\left| \frac{3}{8} \right|$ $\overset{5}{\text{—}} \overset{\circ}{\text{—}} \overset{\text{Am}}{\text{—}}$ $\overset{56}{\text{—}} \left| \overset{7}{\text{—}} \overset{\circ}{\text{—}} \overset{\text{Am}}{\text{—}}$ $\overset{71}{\text{—}} \left| \overset{2}{\text{—}} \overset{\circ}{\text{—}} \overset{\text{Am}}{\text{—}}$ $\overset{23}{\text{—}} \left| \overset{4}{\text{—}} \overset{\circ}{\text{—}} \overset{\text{Am}}{\text{—}}$ $\overset{6}{\text{—}} \left| \overset{6}{8} \right|$ $\overset{\text{rit}}{\text{—}} \overset{02426}{\text{—}} \overset{6}{\text{—}} \left| \overset{7}{\text{—}} \overset{\circ}{\text{—}} \overset{\text{mp}}{\text{—}}$

[illegible]

5123 4567 | i | 7 | i | 2 | i | — | i | i
 0 535 0424 | 0535 0424 | 0353 5353 | 1353 | i
 mf f

Test piece for tremolo harmonica solo competition,
5th Asia Pacific Harmonica Festival 2004 in Hong Kong

アジア太平洋大会
複音部門課題曲

奮 進
Gumption

Harmonica in A is recommended by the composer
(sounds minor 3rd lower than this notation)

許翔威

HUI CHEUNG WAI

(for tremolo harmonica solo)

Allegretto giocoso

mf

a tempo

rit.

mp

mf

rit.

f *pp*

a tempo

ad lib

desterita con moto

mp

mf *p*

Animato, piu mosso

mp *p* *mp*

mf *f*

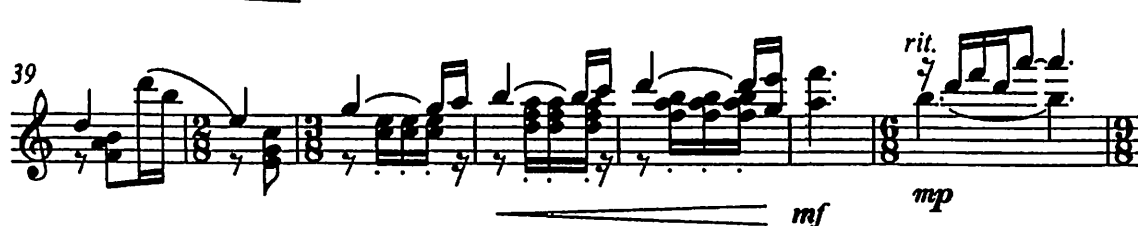
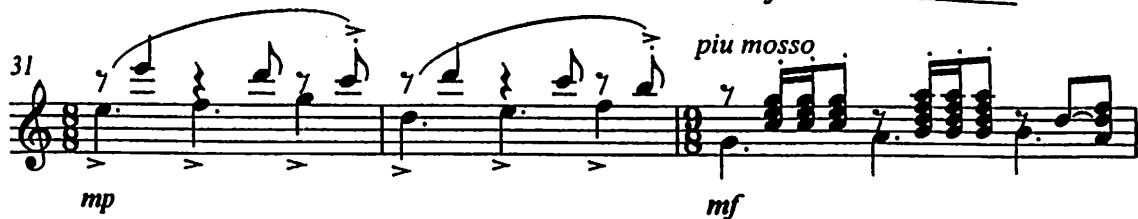
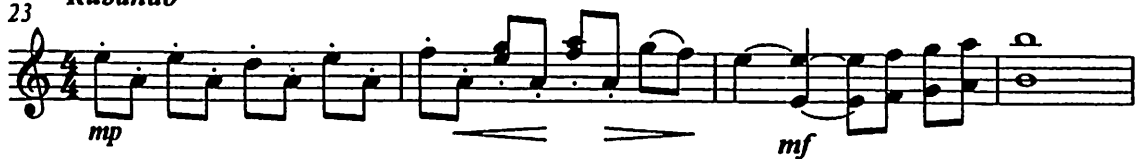
rit.

p *mp* *p* *mf* *p*

U

bending note

23 *Rubando*



48 *Risoluto, con moto*



シグモンド・グローヴン氏と再会

姉 川 敏 彦

ノルウェーの吟遊詩人と呼ばれる、ハーモニカのシグモンド・グローヴン氏と5年ぶりに香港で再会することが出来ました。

私をアジア太平洋ハーモニカ・香港大会に行くことを決意させたのはシグモンド氏との再会の約束があったからである。この間、約5年は手紙や時々プレゼントの交換で交流を深めていたが、何しろ北欧と日本という遠距離であり、思うように会えないもどかしさもありました。

しかし、今回の大会には、彼が特別ゲストと審査員として参加することが分かっていたので私のハーモニカ演奏を聴いてもらおうと意を決して会いに行きました。

コンテストの時の私の演奏を聴いて「上手くなった。良い演奏だった。」と言ってくれたときは心底うれしく、5年前に彼とフォスターの「ネリーブライ」を二重奏で楽しんだことが再び思い出され、よい師に巡り会えたことをほんとうに幸せに思いました。

また、セミナーでは音作りの問題や奏法、解釈の問題等、彼の演奏を通して指導されハーモニカの奥義の一端をかいま見ることができ、実際はそう簡単ではないが、早速明日からの練習に生かせそうな気がしました。

仲間でよく話題になる『Polle』ハーモニカの制作者、Georg Poollestad氏も『ハーモニカ設計と改良』というセミナーの講師として参加され、日頃私たちの悩んでいるバルブやスライドの固まりについて懇切丁寧に答えておられました。

大会期間中、コンテストやセミナー、演奏会等で彼をはじめとして大勢のハーモニカ奏者、仲間との出会いがあったことで私の望みは十分果たすことが出来ました。

もう一つ、以前 彼のCDで私の手元に無いリストを書き上げておいたのを彼はちゃんと覚えていて、持ってきてプレゼントしてくれたことにも感激しました。

私が所蔵するシグモンド・グローヴンのCDリスト

Colour slides	1998 Grappa	GRCD 4143
Sigmund Groven	1988 Polydor	835 390-2
Aria	1988 Sonet	SCD 15012
Nordisk natt	1990 Snet	SCD 15021
Nattonsker	1991 Sonet	SCD 15034
Siesta	1993 Grappa	GRCD 4140
Til Telemark	1998 Grappa	4141
I godt lag	1996 Sonet	SCD 15102
Harmonica Album	1998 Grappa	GRCD 4151
Innunder Jul	2000 Grappa	GRCD 4115
Vi pa Langedrag	2001 Grappa	GRCD 4180
Musikken inni oss	1992 Sonet	15048
Kom sol pa all mine berg	1998 Grappa	GRCD 4144
Over the Rainbow	2003 Grappa	GRCD 4195
Phil Harmonica	2004 Pro Musica	PPC 9050
HERE THERE AND EVERYWHERE	2004 Grappa	GRCD 4197

2004年(平成16年)8月17日 火曜日

ハーモニカ演奏 半世紀以上

大津の姉川さん



アジア太平洋ハーモニカ大会のシニア部門で初優勝した姉川敏彦さん
(大津市石山寺2丁目)

アジア太平洋大会出場
シニア部門でV

四日から九日まで香港で開かれたアジア太平洋ハーモニカ大会に初出場した大津市石山寺2丁目の姉川敏彦さん(68)が、シニア部門で優勝した。姉川さんは演奏を始めて半世紀以上のベテランで「緊張せず楽しく演奏できた」と話している。

姉川さんは母親の影響で五歳からハーモニカを吹き始め、全日本学生コンクールの西日本大会や全日本大会で最優秀

などを受賞。音楽教師会つためもあって六十歳として大津市内の小学校で指導し、現在は市内の公民館などでハーモニカの指導に当たっている。

アジア太平洋大会は、二年に一度アジア各国で開催されるプロへの登竜門で、九部門に七カ国から六百十五人が参加した。姉川さんは五年前から文通しているノルウェーの演奏家が大会の審査員を務めることを知り、彼に

マチックハーモニカ・ソロ部門に出場した。クロマチック部門は入賞できなかったが、二十一人が挑んだシニア部門では、一年前から練習を重ねてきた難曲「ロンド・ロココ」を吹きこなし優勝した。姉川さんは「次回も出場したい。頑張ったらできるといふ姿を生徒たちにも見てほしい」と喜んでいる。

ベテランの味発揮

p 20のアジア太平洋ハーモニカ大会2004香港の写真説明

左上から、開会式演奏(真野、町田、齋藤、森本、並木、鶴田)、閉会式演奏(並木、森本、鶴田) 開会式演奏、齋藤壽孝によるセミナー、和谷泰扶によるセミナー、オープンステージ、小アンサンブルコンテスト、オーケストラコンテスト、小アンサンブルコンテスト(厚木チェリーズ)、同札幌日カルテット、複音優勝の岩間朱美、デュエットコンテスト、閉会式(台湾で会いましょう)以上敬称省略

とっておきの話[33]

多くを学んだ

香港アジア大会

関西ハーモニカ連盟 特別顧問 森本 恵夫

「香港の夜は更けて・・・」なんて言うと、ちょっとロマンチックで、流行歌の題になりそうですが、私にとって今回の香港大会は、観光にも行けず、香港の料理に舌づつみを打つこともなく、ひたすらホテルと大会会場の往復に費やした1週間でした。

朝のホテルのバイキングは豪華で、これだけが大きな楽しみ、あとは満足な食事をする時間も無く審査とコンサートの明け暮れ、夜は会が終わると、レストランは皆クロスしているので、小さなコンビニを見つけ、カップラーメンとサウンドイッチとカンビール（私はコーラ）でお茶をにごすという淋しい毎日。

しかし、6月にはオーストリアのインスブルックで2週間、風光明媚な観光とモーツァルトを満喫して来たのですから、ぐちは言うまい、こぼすまい。

~~~~~○~~~~~○~~~~~

さて、2004年8月3日から9日まで行われた第5回アジアハーモニカ香港大会は、過去最大規模で開催され、アジアに於けるハーモニカ音楽の向上と発展に大きな役割を果たしたと言えるだろう。

コンテスト部分については、吉村氏の詳細なレポートにおまかせして、連夜に亘って開かれた華麗なガラ・コンサートについて私見を述べてみたい。

#### 第 1 夜

コンサートの初日は8月5日アジア・フォーク・ガラコンサートとして幕開けした。アジア各国の趣向をこらした演奏を披露、観客を楽しませてくれた。

たびたび来日して我々にもなじみ深いマレーシアの張(チャン)さん、韓国の李恵奉氏も大張り切り、中国一の若手名手、何家義氏（現在ニューヨーク在住）の難曲をメドレーで複音ソロを聞かせてくれた。

トリをとつたのは我らの齋藤壽孝氏、羽織袴で登場すると万来の拍手、古琴の烏力亜娜さんと共演した「さくら変奏曲」は視覚的にも楽しませてくれて、トリにふさわしい名演だった。

#### 第 2 夜

8月6日はジャズナイト。

テンホールズの吉田有信氏がトップバッターだ。例によって大きなハットをかぶり、ロック衣装でステージを歩きまわる。縦横自在なアドリブで客席を圧倒。

しかし、あの割れたサウンドを強調し過ぎた音に馴染めないのか、耳をふさいでいる聴衆も若干目についた。

若者に人気のあるテンホールズが、今一つのび悩んでいる面もあるのは、テンホールズを使った美しいストレートメロディーを聞かせてゆく努力をしてゆく必要があるのではなから

うか。

続くニュージーランドのブレンダン・パワーは、独特のスケールのテンホールズ（クロマチックも）を使い、異国風のメロディーを巧みに聞かせてくれたが、トリは毎年来日して日本人にも馴染みの多い、クロード・ガーデンがしめくくってくれた。

殆ど打ち合わせ無しで吹きまくる「枯葉」その他のスタンダードナンバーの自由自在のアドリブは、ただただ舌を巻くばかりだ。

しかし、少々ミストーンと混音が目立ち、往年の冴えが衰えたように感じたのは、私だけだろうか。

願わくば、お酒を少々自重していただけたら良いなと余計な心配をしてしまった。

### 第 3 夜

8月7日、我々が一番期待した「クラシック・ハイライト」である。

60余名の香港チャンバー・オーケストラ（指揮 ハーメン・クノーガン）をバックに我々が誇る和谷泰扶氏がさっそうと登場、アーサー・ベンジャミンの飛躍の多いハーモニカ・コンチェルトを見事に吹きこなし、会場から惜しめない拍手が贈られた。

そして次は得意のマラゲーニャ。これは無伴奏で演奏される場合が多く、当夜もオケ無しのソロ。

ところが、驚いたことに、わざわざマイクを外し、ステージの中央に出て来て、ノーマイクで吹き始めた。当然ハーモニカの音は、か細く、痩せっぽちの音になってしまった。1000人以上の大ホールでのノーマイク演奏は無謀としか言いようが無い。

案の定、後半のオクターブをフォルテで聞かせる所では、ピッチが乱れて聞き苦しく、時折アタックを聞かせる所では吹きづまりを生じることが起きてしまった。

常に完璧を志す彼には考えられないことだ。

往々にしてクラシックのクロマチックのプレーヤーはマイクを使うのを嫌う傾向がある。音楽は生まの音が美しい、クラシック音楽家はマイクを使わないという先入観に、かたくなにこだわっているようだ。

ピアノ伴奏の時などでも、伴奏音が入ると、とたんにハーモニカの音がもぐってしまう。音が聞こえなくては、どんな名演奏も意味が無いし、聞いている方は欲求不満になってしまう。

大きな響鳴体を通して会場の空気を震わすことの出来る楽器と、高々2.3cmのリードが振動して音を出すハーモニカとは、出る音のエネルギーの大きさが違う。

その上、音は距離の2乗に反比例するから、会場の前列で聞こえる音も、後列では蚊の鳴くような音になってしまう。

マイクは、ただ音を大きくする道具ではない。「美しい生まの音」を会場のすみずみまで行き渡らせるのがマイクの役目なのだから、マイクを上手に使うことは、演奏者の使命と言っても過言ではない。

もうそろそろ、タブー視している「マイク論議」をもっとやるべきではないか。

それはさておき、和谷氏の演奏に対する音楽的評価は言うまでも無く絶大である。

しかし音響効果を考慮したら、その評価はその数倍にもなることを心に留めてほしいものである。

~~~~~○~~~~~○~~~~~

シグムント・グローブンの「トレド」は圧巻だった。今までいろいろの奏者の演奏を何度もきいているが、彼の演奏は音の運びといい、テンポといい、大ベテランの風格を余すところなく発揮した名演だったと言えよう。

最後のフランツ・シンメルのツィゴイネルワイゼン是最も興味あるプログラムだった。

60数年前、全日本ハーモニカコンクールで10本使って優勝して以来のおなじみの曲だ。

やはり凄かった。とてもクロマチックでは無理と思われるフレーズ（特に後半のAメイジャーに転調した部分）をノームスで吹きとばしたところは、ただ驚嘆するばかりである。大きな拍手がいつまでも鳴り止まなかった。

しかし、しかしである。全体的に音の流れに音楽性が欠けている。音がブツ切れで、歌っていないのだ。「天は二物を与えず」とは良く言ったものの、何故かほっとして複雑な気持ちを抱いて熱い会場を後にした。

~~~~~○~~~~~○~~~~~

とにかく今回の香港大会を通して深く感じたことは、クロマチック部門では、ソロ、アンサンブルを問わず圧倒的に若者が多く、日本でのハーモニカ界の在り方に、もう一度振り返って考え直す時期が来ているのではないかと思われた。

一方、ちょっとした救いは、複音の分野では日本に一日の長があり、日本的奏法の進出の余地が多分に残されているようだ。ただその前提として、複音演奏の音楽性を（編曲を含めて）高めておく必要がある。

とにかくこのたびの香港アジア大会は、我々に大きな感動と刺激を与えてくれた。これらを今後のかてとして日本のハーモニカ界の発展に結び付けて行くのが我々の使命ではなかろうか。

## リクエスト方式で演奏会

### 8/18堺女性大学教養講座 2時間

吉村 則次

堺市にある堺女性大学のクロマチック・ハーモニカ講座は、私が担当して今年4年目に入っておりますが、このコース別講座とは別に、女性大学の一般の受講生及び市民を対象とした教養講座というものがほとんど毎週開催されております。

私も、今までこれを年平均1回の合計3回担当したことがありますが、今回も8/18水曜日の依頼があり、2時間をいただきましたので、ハーモニカの普及発展および自分の技能向上、同大学のハーモニカ・コースの宣伝のために、午後1時30分から2時間にわたり、演奏とハーモニカの解説を実施いたしました。来場者は約450名でした。

演奏曲目は、数多くある候補曲目の中で、自分で2時間に絞るのは非常に困難だったので、自分が得意とするもの以外に、自分ができる曲名をリストアップし、来場者を選んでもらって時間一杯演奏をいたしました。

来場者からのリクエストを含め演奏した曲目は次のとおりでした。

ひょっこりひょうたん島、涙そうそう、地上の星、スターウォーズ、カリнка、荒城の月、ブラームスの恋人たち、モーツァルトオペラ魔笛からのアリア、鳥の歌（カザルス）百万本のバラ、津軽のふるさと、黄昏のワルツ、渡る世間は鬼ばかり、天花のテーマ、川の流れるように、精霊流し、無縁坂、亜麻色の紙の乙女、ロミオとジュリエットのテーマ、島唄 以上20曲

関西の加藤悦子氏(西宮)、氏原茂氏(大東)、  
田堀国浩氏(和歌山)、鈴木達也氏(枚方)が  
入賞 2004/6/6世界ハーモニカ連盟日本支部主催コンテスト

## 編集局

F I H ジャパン(世界ハーモニカ連盟日本支部)からの連絡によると、6/6に東京で  
開催されたコンテスト決勝大会で、関西からの出場者のうち表題のかたが入賞されたとの  
こと。(いずれも当連盟の会員ではないかた)

クロマチック・クラシック 3位 加藤悦子氏(西宮)

クラシック・ジャズ&ポップス 2位 氏原茂氏(大東)

3位 田堀国浩氏(和歌山)、3位 鈴木達也氏(枚方)

その他の入賞者は下記のとおり。

## 2004 F. I. H. JAPANハーモニカコンテスト結果

### ◆◆グランプリ

比嘉祥人(クロマチック・クラシック/ソロ部門)

### ◆ブルースライブ

1位:千葉真之 . . . . . The Creeper (草加)

2位:原田真一郎 . . . . . Walkin' by Myself (習志野)

3位:坂田克之 . . . . . Off The Wall (横須賀)

### ◆クロマチック・クラシック/ソロ部門

1位:比嘉祥人 . . . . . IMPROMPTU (岐阜/関)

2位:中園康介 . . . . . スペイン幻想曲「トレド」(むつ)

3位:加藤悦子 . . . . . IMPROMPTU (西宮)

### ◆クロマチック・ジャズ&ポップス/ソロ部門

2位:山口 牧 . . . . . バリカン(静岡/豊田)

2位:氏原 茂 . . . . . ジェントル・レイン(大東)

3位:田堀国浩 . . . . . エル・クバンチェロ(和歌山)

3位:鈴木達也 . . . . . キャリオカ(枚方)

### ◆フリー部門

該当者なし

### ◆複音

1位:西村 充 . . . . . ワルツ第7番嬰ハ短調(厚木)

2位:福島千鶴子 . . . . . 龍の伝え人(茅ヶ崎)

3位:矢野康晴 . . . . . アルルの女より「ファランドール」(瀬戸)

### ◆アンサンブル小編成部門

1位:坂上和佳子/飯田尚子 . . . . . デュエティーノ(岡山、米子)

2位:テンポ・プリモ(加部育子/林康子) . . . . . 小さな木の実(大和)

3位:デュオ・トリプルエイ(小澤邦男、森 正義)

. . . . . ハイドン交響曲第100番よりメヌエット ト長調第3楽章より(名古屋)

### ◆アンサンブル大編成部門

1位:The Who-hoo(岡本吉生、石井裕香、小沼美枝子、前川紀子)

. . . . . 「サウンド・オブ・ミュージック」メドレー(神奈川/愛川)

2位:ドリームカルテット(加藤君代、清水美恵子、小山勝男、遠藤正洋)

. . . . . 真珠採りのタンゴ(海老名)

3位:アンサンブル パライーゾ(小澤邦夫、大沢龍巳、森正義、新美富美子、入山佳江)

. . . . . モーツァルト交響曲40番k550第1楽章より(名古屋)

審査員奨励賞:吉兼彦彦(クラシック) . . . . . マラゲニア(前橋)

審査員奨励賞:大滝一字(複音) . . . . . 砂山に寄せる抒情(秦野)

# ハイライトは、ラーキルヘンでの交歓演奏会 オーストリア・ハーモニカ旅行ご報告

吉村 則次

## 寂しいハーモニカコンテスト

それは、インスブルックで定期的に行われているという第8回世界音楽祭の案内状が、昨年(2003年)6月頃、送られて来たことから始まりました。世界音楽祭と言っても「アコーディオンとハーモニカの」ではありますが。

今まで一緒に世界各地に行っている森本恵夫さんに話をしたら、ぜひ一緒に行こうということになり、一方この会報等で宣伝したら、数人希望者は出てきましたが、15泊16日という長い旅程やJTBや近ツリ等の肩書のつかない自由旅行に恐れをなして脱落し、結局、森本恵夫さん、東京の真田正二さん、同じく東京の篠藤(すどう)美與子さん夫妻の5人で行くことになりました。これは偶然か2000年9月にイギリスのボーンマスでのIHO(国際ハーモニカ協会)主催の世界大会に行ったときとほぼ同じメンバーとなりました。

旅行期間は、いろいろ各自都合があり、紆余曲折の結果、私が6/5出発、森本さんと真田さんが6/7出発、篠藤さんが6/10出発となって、全員が揃ったのはインスブルックでのホテルででした。その後はインスブルグ〜ザルツブルグ〜ザルツカンマゲート〜チェスキー・クルムロフ(チェコ)〜ウィーンと同道。6/21帰国。

音楽祭は6/10〜11の2日間でしたが、ハーモニカ・コンテストのカテゴリー(複音がない!)の少なさからも、案内書類からも、その後の主催者のぶっきらぼうの態度から見ても、これは主にアコーディオンの大会であって、ハーモニカは「お添え物的」で、非常に小さい規模のものと想像できました。

事実、行って見ると、コンテストの規模でも、アコーディオンが7カ所の大きな会場で種目別に2日間にわたって行われていたのに対し、ハーモニカは、公民館的な会場で、ソロからアンサンブルまでのすべてのカテゴリーが1日で行われただけでした。比率からすると95:5かもっと低いかと思われました。

ハーモニカ・コンテストの中身も、大部分がドイツのハーモニカの故郷トロシゲンからの出場者で、ドイツ以外ではオランダ、オーストリアがちらほら見えるだけ。アジアからの出場者はゼロ。私たちも最初はコンテストにも出ようかなとは考えたのですが、ハーモニカの区分がクロマチック・ソロと小人数グループとオーケストラの3つだけで、複音は全くないということ、コンテストのルールが記載されていないこと、またその後の質問に対してもぶっきらぼうな回答しか来なかったこと(英語もわからないような状態で)で、信用がなかったもので、コンテストはやめにしました。

ですから、8月の香港でのアジア太平洋大会に比べて、はるかに貧弱なものでした。これが世界大会か、と寂しい気持ちがしました。7/18に当連盟主催で開催した第5回西日本コンテストの45名(組)よりも少ないものであった。

ちなみに、カテゴリー別出場者数は次のとおりでした。

|         |      |    |
|---------|------|----|
| ハーモニカソロ | 大人   | 10 |
| ハーモニカソロ | 少年少女 | 9  |
| グループ    | 少年少女 | 3  |
| グループ    | 大人   | 6  |

## 森本さんのモーツァルトのトルコ行進曲が 受けた！～オーストリアのかたと交歓演奏会

この旅行のハイライトは、オーストリアのラーキルヘンという村での交歓演奏会でした。

オーストリアの中部、ザルツブルグの少し東にザルツカンマゲート地方という風光明媚なところがあり、その北の端っこにラーキルヘンという小さな村があります。よほど大きな地図でないと捜し出せない村ですが、ハーモニカに関しては、日本でいうと神奈川県の高木に当たるところ、すなわちここにブッヒンジャーというアコーディオンとハーモニカの有名な指導者がおられ、このかたのお陰でハーモニカが非常に盛んで、世界チャンピオンも多く出しているところです。

私と、このブッヒンジャーというかたは、1991年にアメリカのデトロイトのFIH/IHOハーモニカ大会でお会いして以来、あちこちのハーモニカ大会でお会いしており、今回インスブルックに行くにあたり、「多分あなたは審査員として来られるのでしょうか、お会いするのを楽しみにしている、私たちはその後ザルツブルグにも行くのでラーキルヘンを訪問したい、できればハーモニカ愛好者と交歓をしたい」と伝えたところ、喜んで受け入れてくれて、結局6/16水曜日午後7時、ラーキルヘンにある州立音楽学校（ブッヒンジャーさんは以前この校長Directorをしていた）の音楽ホールで交歓演奏会を開催してくれることになりました。（あちこちの小さな村にも州立の音楽学校があることは、さすがオーストリアという感じでした。ちなみにその前々日、ピアノさんとリハーサルをしたのがグムンデンの州立音楽学校でした。）

詳細は写真ページをご覧いただきたいと思いますが、ラーキルヘンの大人のハーモニカグループと少年少女のグループが歓迎演奏をしてくれました。

我々日本人の演奏曲目は次のとおりでした。

真田正二（クロマチック） 木綿のハンカチ、ラフ／カバチーナ（ピアノ直子）

篠藤美與子（複音） 青葉の笛

真田／篠藤デュオ さくらさくら

吉村則次（クロマチック） エルガー／愛の挨拶、フォーレ／シシリアーノ

（いずれもピアノ直子）

森本恵夫 春の海（ピアノ直子）、禁じられた遊び、

モーツァルト／トルコ行進曲

（イ長調の話は出ませんでした。よかった）。

4人全員によるカルテット 花のメルヘン

ラーキルヘンのかたと合同で、エーデルワイス

先方は、少年少女のアコーディオンを入れた小人数のバンド演奏と20名ぐらいの大人のグループの演奏があり、私たちも臨時にその大人のグループに入って一緒に演奏もいたしました。1991年のアメリカのデトロイトで開催されたFIH/IHO主催の世界コンテストを含む大会に出て来ていた若い男女の大きなオーケストラ（当然代替わりはしているでしょうが）にはお目にかかれず、ラーキルヘンでも若い人にはハーモニカは下火になって来ているのかなと思いました。

上記中「ピアノ直子」とあるのは、ラーキルヘンの近くのオールズドルフというところに

お住まいの直子クノッパさんで、現在リンツの音楽大学等の先生等をしておられるかた、盛岡のご出身（旧姓長岡直子）で、日本でもリサイタルを開いており、また1993年にラーキルヘンのハーモニカ・グループとともにピアノ伴奏者として来日し、東北各地や東京（上野の東京芸大演奏堂と音楽之友社ホール）で演奏会をおやりになったかたです。

交歓演奏会が決まったときに、直子さんにも来てもらえると聞きましたので、それならMD伴奏でやるより、直子さんのピアノ伴奏で演奏した方が意義のあることと思い（我々が言うことをドイツ語に通訳してくれるという魂胆も含め）、お願いしたいと申し出たところ、快く引き受けていただきました。

私は、せっかくオーストリアで演奏するのだから、オーストリアに関係した作曲家のものをと、ブラームス（弦楽六重奏曲）やレハール（オペラ、メリー・ウィドウ）を練習していたのですが、伴奏譜が見つからず、イギリスとフランスの作曲家のものになりました。

森本恵夫さんが、モーツァルトのトルコ行進曲を演奏してくれたので、義理が立ちました。先方では子供がたは複音ハーモニカを知っていないらしく、森本恵夫さんのマンドリン奏法等には驚かれていた様子でした。

なお、6/18金曜日、我々のザルツカンマグートでの最終日には、同地のハーモニカ団体の会長であるコーラー氏主催の歓迎パーティが田舎家のレストランであり、そこでも現地愛好者と交歓し、演奏をしました。そのとき、写真でご覧のとおりブッヒンジャー氏が、われわれがお土産に持って行った「はっぴ」を来てアコーディオン（ホーナーの最高級品の「グラ」でした）の演奏をしてくれたのも記念すべきことでした。

## 音楽は観光産業

### どこもモーツァルト、モーツァルト

ウィーンは音楽の町として世界中に知られています。有名な作曲家の生まれた家、育った家、お墓があちこちにあります。またザルツブルグも同じで、モーツァルトの生誕地として有名で、世界的な音楽祭も毎年開かれているようです。

ウィーンでは、毎日毎日あちこちの演奏会場、教会等で音楽が演奏されています。国立オペラハウスでは毎日異なった演目のオペラが演じられています。ニュー・イヤーズ・コンサートとして日本のテレビにも流れるウィーン・フィルの本拠地楽友協会ホールでも毎日演奏会（ウィーン・フィルの演奏とは限らない）が開かれています。コンチェルト・ハウスしかり、フォルクス・オパーしかり。これには多くの音楽演奏家が必要ですし、多くの音楽大学の学生のための仕事も必要です。日本からも相当多くのかたが音楽学校に行っているらしく、我々が行ったコンサートもすべて1割ぐらいいは日本人らしい人が含まれていました。

わずか人口160万人のウィーンで、どうしてそんなことが成り立つのでしょうか。これは、長くウィーンに駐在した新聞記者の本によると、旅行者を当てにしているようです。海外からのお客がいなければ成り立たないものだそうです。

そういう私も、その観光政策に乗せられて、1日目（幸い日曜日だった）の朝は王宮礼拝堂でウィーン少年合唱団のミサ(700円)を、夕方はオペラハウスの立ち見席(280円、ほんと！)でロッシーニの「アルジェリアのイタリア人」に親しみ、2日目は、あのきんきりきんの楽友協会ホール(4480円)でブルックナーを聞いて来ました。最終日は、ライムント劇場でミュージカル(7420円)を見て来ました。

ザルツブルグでは、初日はホーエンザルツブルグ城の中でのモーツァルト・コンサート(4060円)、2日目は、それこそアメリカと日本からの観光客だけを当てにしているらしい「サウンド・オブ・ミュージック・ディナー・ショウ」(6020円)を見て来ました。(本当は、

ザルツブルグでは世界的に有名な人形劇(マリオネット)を見たかったのですが、われわれの2日間の滞在中は公演がありませんでした。)

あちらさんの観光産業政策に乗せられたとは言え、これらのいい音楽に接して来たということはいいことではあり、いい経験をして来ました。

なお「どこで、いつ、なにが、あるか」は月別の小冊子になっており、航空機の中にも置いてあるし、ホテルのフロントにも置いてあり、その中から選んでチケットを買いに行くことができます。

ウィーンの中央墓地にあるベートーベンやモーツァルト、シュトラウス、ブラームス、シューベルト等のお墓にも参り、よろしくね、と言って来ました。(8月の香港大会ではモーツァルトの曲でコンテストに出場することとしていました。)

あちこちにあるモーツァルトが生まれたとか住んだことがあるとかいう家、ハイドンが住んで、「天地創造」や「四季」を書いたという家、等にも行ってまいりました。もちろん、モーツァルトが弾いていたピアノ、自筆の楽譜もありますし、モーツァルトが演奏していたという場所は無数にあり、思いを馳せました。ザルツブルグとザルツカンマゲートにはミュージカルの映画「サウンド・オブ・ミュージック」に登場した教会や公園もあり、一家がピクニックに行った登山列車にも乗って来ました。

アントン・カラスのチターによるテーマ音楽でも話題になった映画「第三の男」に出てきたウィーンの大観覧車(プラーター公園というところにあります)や同じく最後のシーンの並木道(中央墓地の中にあります。映画では寒い季節の枯れ木の並木でしたが、今は青々としていました)も見えて来ました。

## ドブリンガーで楽譜を探す 楽譜は豊富か？

ウィーンは、音楽の都だから、当然楽譜も容易に手に入るだろう、ということは想像できます。そこで、前記のブッヒンジャー氏に事前にウィーンの一番大きな楽譜屋を聞いておいて行って来ました。それはウィーンの中心にあるドブリンガーという楽譜店でした。

私の好きなイタリアの作曲家ニーノ・ロータ(太陽がいっぱい、ゴッドファーザー、ロミオとジュリエット、道、等の作曲家と言えばお分かりと思いますが)の映画音楽のピアノ伴奏付ソロ楽譜がないかに行ったのですが、残念ながらピアノ譜1冊しか手に入りませんでした(それでも日本では売られていないものでしたから満足)。しかし、普通のクラシックの楽譜については大きな引き出しが一杯あって(中身は自分では見れない=作曲者名と曲名を言えば持ってきてくれる)豊富のように思えました。またセカンドハンド(古)の楽譜の売り場があって、日本でもセカンドハンドの楽譜の店があってもいいのと思いました。

ハーモニカのお陰で、15泊16日という長い期間有意義な楽しい海外旅行ができました。

感謝、写真ページ参照

終わり

第8回世界音楽祭 インスブルック



ハーモニカコンテスト

ラーキルヘン州立音楽学校での交歓コンサート



2247メートルの  
パツチャーコーフェル頂上で  
ハーモニカを吹く





ハーモニカ団体主催の  
歓迎パーティ

右、ブッヒンジャーさん



日本からのご一行様  
チェコのチェスキー・クルムロフにて  
篠藤八朗、美與子、森本、真田、吉村

## ハーモニカが上達する為の大切なこと(18)

全日本綜合音楽院・院長

F. I. II(世界ハーモニカ連盟)日本支部役員 池田 輝樹

◎ミニ・モニ等俳優さんたちへのハーモニカ指導（NHKドラマ愛の詩ミニ・モニのブレーメンの音楽隊に出演）

昨年9月ころにNHKチーフ・ディレクターの遠藤理史さんからtelがあり、ハーモニカを主体としたドラマのブレーメンの音楽隊を作るので依頼されました。遠藤さんとは今まで朝の連続ドラマの“あぐり”でご縁があり、音楽に関してもピアノやアルト・サクソ等も演奏され、人間的にも大変良い方です。

まずは渋谷の放送センターへ行って打ち合わせをしました。現在幼、小、中学生等にも大変人気のあるモーニング娘を前面に出しており、吹き替え等は私が全部するのですが、実際にミニ・モニの（敬称略）高橋愛、辻希美、加護亜依をはじめ有名な俳優さんたちにハーモニカが吹けるようにして欲しい旨も頼まれたのです。超売れっ子の大変忙しい、それらの人々に短時日で吹けるようにしなければいけないのです。教えるのは私の本職ですので張り切りましたが、日程の調整で大変難儀をしました。私自身も毎月1週間前後は京都、四国への出張指導の旅に出かけますし、又、毎月20日間位は関東地方の各県の指導に出かけますので、大変でした。私がどうしても行けない時は、濱崎泰夫さん（ナンプ・ハーモニカ・アンサンブル、バス奏者）や私の長男の司（桐朋学園大学音楽学部卒業、同研究科終了）にも手伝ってもらいました。

最初の打ち合わせには制作統括の安原裕人さんはじめ遠藤さんたちの方々や美術の方々等とお話し合いを致しました。まず、どのようなハーモニカを使うかと言うことで、ハーモニカ博物館みたいなものがあるかとの質問がありました。現在そう言うようなものは無いし、又、楽器会社へ行っても自社の製品のみしか展示してないので、結局は私の自宅へNHKの主だった方々が来ることになりました。私のところには各社の製品をはじめ、昔のいろいろな種類のハーモニカを集めてありますので役に立ちました。（例を上げると、ナンプ・クロマチック・ハーモニカ、勿論スライド式です。又四国バンド・ハーモニカ、香川県の津田に工場がありました。等々）たくさんの種類のハーモニカを実際に手に取って鳴らしていただきました。その結果このドラマに向いているものとして次のものが選ばれました。

◎ホーナー製リーベリング、各種

◎トンボ製トレモロ16穴 等々

この他にもテン・ホールズいわゆるブルース・ハーブや鍵盤ハーモニカ等々も使うことになり、それらの指導も一手に引き受けました。

私の指導法の順序として①導入②リズム奏③部分奏④さぐり吹き⑤旋律奏⑥いろいろな奏法⑦合奏、があります。然し短い日時で吹けるようにするには、これらをうまく、まとめて、しかもハーモニカの上達するコツ（私の方法は①吹吸いを平均させる②腹式呼吸③プレスVを正しく④楽器を移動させる、つまりハーモニカはあまり動かさない。等々）を身体で判ってもらわなければいけません。

ミニ・モニのみんなや他の俳優さんたちは、みんな真剣に、素直に、一生懸命に習ってくれました。今回のドラマでは役によって複音やテン・ホールズや鍵盤ハーモニカが出て来ます。又、合奏（第1ハーモニカ、第2ハーモニカ、鍵盤ハーモニカ）もありました。まずは、導入として、私の演奏も聞かせたり、あんまり神経的に張り詰めないでリラックスさせたり

等、いろいろ教えてどうにか、ドラマの中で主として流れるテーマみたいなkenji（ドラマの中の男の子の健志）と言う曲を吹けるように致しました。大変私が感心したのは出演のほとんどやディレクターや演出補の方々までも一緒にハーモニカを習おうと言うことで取り組んだ事です。ドラマの中で俳優さんたちが吹くマネをするのではなく、本当に吹けるようになろうと努力したことです。何度も言いますように、ほとんど私が吹いたのですが、本人が吹いている実感が伝わったのではと思います。良い映画等と言うのは（黒澤明監督のもの等々）ほんのごくわずかししか映らない通行人等を大変大切にしていると言うことが実感出来ました。

ドラマが進行して来て（第9回目）終戦後の1949年（昭和24年）ころの場面でハーモニカ・アンサンブルの出演も依頼されました。当時NHKのラジオでナンプ・ハーモニカ・アンサンブルは何回も出演しておりまして、曲目はフォスター民謡等や峠の我が家、ロッキー山の急行列車、ハンガリア狂詩曲第2番、なつかしのカウボーイ時代、等々でした。南部先生をはじめ、メンバーの人達はみんな若かった。当時を再現するには若い人々の演奏と言うことになりますが、その時代のふんいきをよく知っていて、当時、実際に演奏をしたバス・ハーモニカの濱崎泰夫さんやコード・ハーモニカの津島利渉さん、そして、私達のメンバーに加わって下さっている中島康之さんに第2ハーモニカを奏してもらって、それに私の第1ハーモニカの4人編成で、当時演奏をした”ロッキー山の急行列車”を合奏することになりました。ただし、山下ディレクターの注文で、演奏時間の短縮と第1ハーモニカは、クロマチックではなく複音ハーモニカを2本使って、派手にして欲しいと言うことでした。当時と同じように全員暗譜をして動きを付けてがんばりました。ドラマの全体の時間の関係で全部演奏出来なかったのが大変残念でした。

第10回目は当時、小学校や中学校等でもハーモニカが大変みんなに人気があって、ドラマの中でもミニ・モニの加護亜依が転校生としてクラスの、みんなと”もしもし亀よ”のハーモニカを吹く場面では長男の司が音楽の先生役で出演を致しました。両手を前面に出して両手を動かして吹き吸いの手マネの合図によってみんなに吹かせました。司は毎年、日比谷公会堂での全国幼児リード器楽合奏発表会を主催側として主体となって手伝ってくれております。

ブレイメンの音楽隊のD.V.Dも大変売れ行きが好調とのことです。（vol 1, vol 2, vol 3）現在、再々放映が毎週火曜日NHK教育テレビで夕方19時より19時25分までです。ご声援下さい。6月22日（火）よりはじまって最終回は9月7日（火）です。12回まであって、アンサンブルの出演は9回目です。

2004. 6. 2 朝日

## 和泉・もりさんがハーモニカ賞

### 親子二代の受賞



和泉市に住むハーモニカ奏者もり・けんさんが、このほど第26回日本

ハーモニカ賞を受賞した  
写真右。

でいる。

父正隆さんは91年度のハーモニカ世界コンテストト複音ソロ部門のチャンピオン。その影響で、幼いころからハーモニカを演奏。約10年前に絵本の編集者を辞めてから本格的な演奏活動をスタート。ミュージカルの制作や海外交流にも取り組ん

てゐる。もり・けんさんは親子二代の受賞で「今後ハーモニカに精進したい」と話している。



日本ハーモニカ芸術協会  
第18回定期演奏会  
2004/6/27  
高石市アブラホール



セタコンサート  
堺市湊商店会主催  
南海本線湊駅下にて  
2004/7/2

茨木ハーモニカ  
ファミリー  
屋外練習会  
徳秀苑



第36回みんなのハーモニカコンサート  
2004-5-30 阿倍野区民センター



垂水ハーモニカ友の会  
区民音楽の広場



N H K 神戸文化センター      慰問演奏  
村上 浩一

- 1、神戸高知県人会土陽会第74回総会に出演  
  (1)とき 平成16年6月13日(日)12時~12時30分  
  (2)ところ 神戸市中央区 西山記念会館  
  (3)出演者 14人  
  (4)曲目 ☆南国土佐を後にして 外7曲 合奏  
          ☆誰か故郷を想わざる ☆ラ・クンパルシータ 独奏  
  (5)参集人員 100人
- 2、社会福祉法人・北須磨保育センター  
  介護老人福祉施設・デイサービスセンター 友が丘Y U A I  
  (1)とき 平成16年5月11日(火)10時30分~11時30分  
  (2)ところ 神戸市須磨区 友が丘Y U A I  
  (3)出演者 9人  
  (4)曲目 童謡・唱歌・ナツメロ船頭小唄外20曲  
  (5)参集人員 40人(歌詞を配布、歌ってもらった)
- 3、社会福祉法人・神戸中央福祉会・デイサービス慰問  
  (1)とき 平成16年8月24日(火)10時30分~11時15分  
  (2)ところ 山手さくら苑(神戸市中央区)  
  (3)出演者 10人  
  (4)曲目 童謡・唱歌・ナツメロなど15曲  
  (5)参集人員 50人(全員歌を歌ってもらった)
- 4、老人の集い、まごの手会  
  (1)とき 平成16年8月24日(火)14時~14時40分  
  (2)ところ 明石市 太寺会館  
  (3)出演者 6人  
  (4)曲目 童謡・唱歌・ナツメロなど 15曲  
  (5)参集人員 50人(全員歌を歌ってもらった)

----- ○ -----

- ◎社会福祉法人、神戸愛育会あい保育園 お誕生会に出演 村上 浩一
- (1)とき 平成16年6月22日(火)10時30分~11時30分
  - (2)ところ 神戸市西区伊川谷有瀬
  - (3)参集園児 130人
  - (4)曲目 南の島のハメハメハ大王ほか6曲 みんなが歌った
  - (5)就学前園児30人には「かえるの合唱」をハーモニカの吹き方を指導した
- ◎朗読と音楽のひとつに出演 村上 浩一
- (1)とき 平成16年6月22日(火)15時~15時30分
  - (2)ところ 神戸市中央区 スタジオ・カルマンド
  - (3)曲目 ハンガリアン舞曲第5番ほか3曲(独奏)
  - (4)参集人員 25人(浜辺の歌外4曲は全員で斉唱)

写真ページ参照

新しいハーモニカCD

吉村 則次

第5回アジア太平洋ハーモニカ大会香港の会場にて次の4点を購入した。もっと多く出ていたが、自家製のもので内容が分からないものや、すでに私が持っているものが多く、取得したのはこれだけであった。今になって考えるともっと買ってくればよかったと思う。ガラコンサートでも演奏したオーストリアのシュメルのものが1枚もなかったのは残念であった。高いもので110ドル(1650円)、安いもので70ドル(1050円)ぐらいであった。

◎シグムンド・グローブン PHILHARMONICA NORWAY GRAPPA PPC9050

◎YEW HONG JEN 遊宏任and His Golden Harmonica シンガポールのクロマチック奏者

◎BRENDAN POWER, Pure and Simple

◎何家義(He Jia Yi) Hora Staccato



2004/6/13  
神戸高知県人会土陽会総会  
NHK神戸文化センター演奏



2004/5/11  
友が丘友愛デーサービス慰問9人



VOICE Vol.6 June 22 '04

2004/6/22  
スタジオ カルマンドにて  
村上浩一

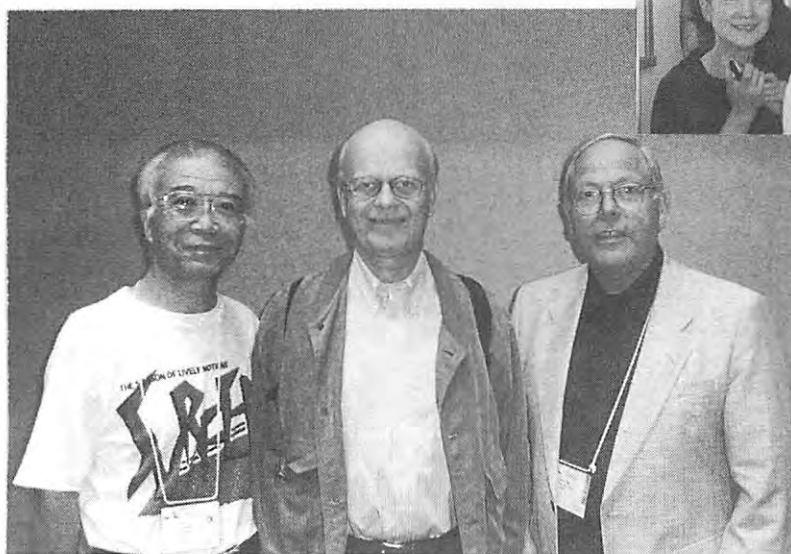


2004/6/22  
あい保育園誕生会演奏  
ハーモニカの吹き方指導



第17回 コープこうべ 音楽のつどい 2004年4月29日 於 うはらホール

都クロマチック・ハーモニカ・クラブ  
第2回ホーム・コンサート  
2004/5/18



アジア太平洋ハーモニカ大会にて  
左から、姉川敏彦  
シグモンド・グローヴン  
ジョージ・ボーレ

## 青嵐の過ぎたる空へハーモニカ

KHF 第3回ハーモニカサロン & コンサート を終えて 事務局 大石 喜一郎

台風第2号の接近が予想された5/21は、KHF『楽しいハーモニカコンサート』の当日でしたが、幸いにもコースが外れ朝から晴れて汗ばむほどの好天になりました。

今回から第一部を『ハーモニカサロン…愛好者のための楽典入門』として午前にやり、第二部は『飛び入りコンサート…Free Harmonica』で午後の始めに行い、その後公募コンサートである第三部に入るという構成にしました。前日からの荒れた天候に影響されたのか、11:00からのサロン開会時には来場者が少なく150席の半分近くが空席でした。それでも第三部の頃には空席も目立たなくなり、ほっとしました。

第一部は、調号や調性を中心に移調楽器の用法等の堅い話になりましたが、会場からは短調の種類やナチュラルマイナーハーモニカの音の構成とか、電子楽器での移調(Transpose)や音色選定あるいは音楽データ入手方法の問題や3連音符・5連音符の演奏方法等かなり高度な質問が出されました。

第二部では、5人の愛好者が飛び入りで演奏されました。この部門は、たくさんの人を前にして演奏できる度胸付けの機会として、これから大きく伸ばしていきたいと考えています。また織田先生の素晴らしい模範演奏や驚嘆に値するテクニックもご披露頂きました。

第三部は11曲の独奏と13曲の合奏になりましたが、はじめて演奏する人もありベテランもありまた兄弟カルテットもあれば着物美人もありで、初心者から世界ランキングまでの幅広い音が響きました。季節柄”母の日”関連の曲や懐かしくまた情緒豊かな童謡・ナツメロの音もあればチロリアンワルツ・ドイツ曲・アメリカの曲といったさまざまな思いを込めた音楽が、こもこも響き交わすバラエティ豊かな演奏会でした。また新しい試みとして、休憩前にヴォランティアグループによるリフレッシュ体操を取り入れました。

会場準備や片づけはご出演の皆様に手伝っていただき、順調かつ手早くできましたことを、誌上を借りて御礼申し上げます。

第4回 KHF ハーモニカサロン

& 楽しいハーモニカコンサート

とき 平成16年11月15日(月) 11:00～

ところ 府立文化情報センター さいかくホール

テーマ 拍子とリズム (連符・シンコペーション等)

## 複音ハーモニカの魅力、倍増

木下 加奈美

6月12日(土)京都市アヴァンティホールで、10月に東京から始まった東海道リレーコンサート  
の最終回「山城國ハーモニカ祭」が行われました。

今回のコンサートを聞いて、私はハーモニカ演奏の可能性、特に複音ハーモニカの可能性  
がぐんと広がったような気がしました。

ゲストの演奏はさすがにそれぞれ素晴らしいものでしたが、中でも今回私が感動したのは、  
斉藤先生の演奏です。

午前中の斉藤先生のリハーサル中、私は舞台袖にいて、偶然アコーディオンの真野先生と  
お話していました。斉藤先生の演奏が始まったとたんに、思わず私は「えー、斉藤先生、今日  
はクロマチックですか?」と言ったところ、真野先生が「いや、複音だよ。複音でも、単音で吹い  
たりミュートをかけたりすれば、全然違った音になるんだよ。」と教えてくれました。

これまで複音というと、トレモロのかかったやわらかい音で、ベースを入れて、というイメージし  
かなかったのですが、斉藤先生の演奏は、トレモロあり、単音あり、またパイオリン奏法やミュ  
ート等の技術を取り入れて、カラオケバックのメロディーのみの演奏だったにもかかわらず、大変  
イメージの豊かな演奏になっていました。

さらに真野先生は「複音といえばみんなトレモロでしか演奏をしないでしょう。ベースを入れら  
れるようになるとうれしいもんだから、コードが合おうが合うまいが何でもかんでもベースを入れ  
るので、単調で耳障りな演奏になってしまうことがあるんだよ。単音で吹いても複音ハーモニカ  
はクロマチックよりきれいな音が出ると僕は思うよ。」とおっしゃいました。複音の王道、トンボ楽  
器の会長のお話は、私にとってまさに眼から鱗でした。

私はこれまでから複音の柔らかな音色とベースを入れた演奏が好きでした。でも、ポピュラー  
の曲(演歌も含んで)はいいのですが、クラシックの曲に不用意にベースを入れる演奏で、原曲  
にない音が入る違和感を感じることがあり、惜しいと思っていたのです。小さい時からピアノを  
やっていたものにとって、特にポップス調などに編曲されたものでない限り、原曲にない音が  
入るというのは大変不快に感じるものなのです。それだけに複音でも無理にベースを入れず、  
単音でメロディーを演奏するだけで、こんなに豊かな演奏ができるのだということを示してくださ  
った斉藤先生の演奏は、これからの複音ハーモニカの可能性を広げるものだったと思います。

故小林忠夫先生とこのような話をしていた時に、「そうなんや、その原曲にない音が入らんよ  
うにベースを入れるためには、何調のハーモニカを使うか、何調で編曲するのか、それがハー  
モニカソロの曲を編曲する時にとっても悩むんや。どうしても無理な時にはベースを入れんと、  
ピアノで補うことも考えてるんや。」とおっしゃっていたのを思い出します。

これまで、ベースや移動ドに頭を切り替える難しさに負けて、ついつい複音を敬遠していた  
のですが、メロディーだけなら私にもできるかなと思い、複音にも挑戦してみようかなという気にな  
ってきました。

## 「四方ハモ話」

第5回西日本ハーモニカコンテストに参加して感じた事は関西に限らず、各地方にそれぞれ素晴らしい演奏者がおられる、という事と自分自身の技量不足をつくづく感じた事でした。

そして今年は複音ハーモニカの参加者も今までで一番多く審査員も審査に困られたようでした。それだけ複音ハーモニカの底辺が広がってきたとの事です、私も含めて結構、高齢者の方の参加が多く見受けられました。

同じ参加者の一員として還暦を過ぎてからも互いの技量を競い合える仲間がどんどん増えてくる事は心強い限りです。

このことは昔からハーモニカが他の楽器に比べ、いかに多くの人々に親しまれて来たかの表われだろうと思われます。

しかし反面、クロマチックハーモニカ部門には若い人、特にジュニアクラスの参加者がいるが複音はいないのが大変残念な事である。

これは若い人で複音ハーモニカを習う人の絶対数が少ないのと比例する

その理由を考えると、半音階が出せないという楽器の構造的な問題もあるが、やはり若い人が複音ハーモニカを吹いて楽しめるような複音用の新しい曲が少ないことにも大いに原因が有るようにも思われる。

本当の底辺を広げる為にも、どなたか心ある作曲家の諸先生方、複音ハーモニカ用の新しい名曲を、ぜひ作曲して頂けないものでしょうか？

ともあれ年配者の皆様、これからも臆する事なくコンテストに、どんどん挑戦致しましょう！！

光野 利一郎



# 平成 16 年 前半の記録

大石 喜一郎

酷暑の日々が続いていますが、ハーモニカ愛好者の皆さんは元気良く、楽しく活動しています。平成 16 年の前半における関係団体の活動記録をお知らせして、演奏活動に御協力下さった皆さんに謝意を表します。なかでも 5/28 の茨木市 徳秀苑 で実施した屋外練習会は、新緑の中で素晴らしい一日だったことを、写真を添えてお知らせします。

## 平成 16 年前半記録

| 月日   | イベント名                 | 会場                | 出演者                       |
|------|-----------------------|-------------------|---------------------------|
| 2/1  | 磐城流つまみ絵総会             | 大阪市ロイヤルホテル        | 堺市<br>南風ハーモニカ             |
| 2/8  | 茨木 WAM まつり            | 茨木市 ローズ<br>WAM    | 茨木ハーモニカ<br>ファミリー          |
| 3/13 | 茨木山歩きの会               | 茨木市福祉文化会館         | 茨木ハーモニカ<br>ローズ            |
| 3/16 | 吹六いきいきサロン             | 吹田市内本町コミュニティ センター | 茨木ハーモニカ<br>クラブ            |
| 3/21 | 堺市 市民文化祭              | 堺市 市民会館           | 堺市<br>南風ハーモニカ             |
| 4/29 | みんな集まれ<br>ボランティア      | 茨木市中央公園           | 茨木ハーモニカ<br>ファミリー          |
| 5/21 | KHF 楽しい<br>ハーモニカコンサート | 大阪府立文化情報<br>センター  | 堺市南風ハーモニカ<br>茨木ハーモニカファミリー |
| 5/23 | ハモンド<br>ジョイフルコンサート    | 大阪市<br>ドーン センター   | ハモンド梅田<br>センター            |
| 5/28 | IHC 屋外練習会             | 茨木市 徳秀苑           | 茨木ハーモニカ<br>ファミリー          |
| 5/30 | 森 ホームコンサート            | 大阪市 森氏宅           | 大石                        |
| 6/10 | 堺市 5 センター<br>合同発表会    | 堺市 総合福祉会館         | 堺市<br>南風ハーモニカ             |

上記の他 茨木ハーモニカクラブの有志が、吹田市内のデイサービス施設への訪問演奏会を毎月実施しています。

### 今後予定

- 8/21 ローズ WAM たそがれコンサート
- 8/27 茨木ハーモニカクラブ発表会
- 9/4 春日丘荘 コンサート
- 10/16 関西ハーモニカ祭り
- 11/15 KHF ハーモニカサロン &  
第 4 回 楽しいハーモニカコンサート

## 関西ハーモニカ連盟のホームページをご覧になりましたか？

関西ハーモニカ連盟のホームページは今年の 4 月に出来ました。 イベントの紹介、ハーモニカ教室の案内、コンサートの写真等たくさん掲載されています。 8 月 1 日現在、すでに 2, 3 0 0 人の人が見に来ました。すでに yahoo に登録済みですので yahoo のホームページで” 関西ハーモニカ連盟” と入れて検索をすればすぐに見つける事が出来ます。

掲示板も近々入れたいと思いますので会員どうしのみならず一般の人との交流も出来ますのでお楽しみください。 関西ハーモニカ連盟のホームページからハーモニカ関係の多くのホームページにもリンクされていますので楽しさいっぱいです。

皆さんの要望や意見等があればあるほどより良いホームページが出来ますのでどんな事でも書き込みください。

関西ハーモニカ連盟ホームページ管理者

梁 木 (はりき) 進

## 新しいカラオケ C D

吉村 則次

別ページに記載のとおり、私はオーストリア各地に行って来ました。そして当然のことながら楽譜店があれば入って楽譜を漁りました。幸いウィーンで次のとおり、カラオケ C D 付き楽譜を手に入れることができました。

THE MAJESTY OF GOSPEL ドイツSCHOTT社発行

LATIN STANDARDS ドイツSCHOTT社発行

DUETT2 DUX社発行

以下は大阪のササヤで購入

PLAY-ALONG FLUTE World Music Madagascar

PLAY-ALONG FLUTE World Music Argentina

PLAY-ALONG FLUTE From Bach to Satie

Play with the Band, March Melodies

異色は、本田美奈子の「新世界」

ポピュラー音楽（ミュージカル）の歌手でもある本田美奈子のカラオケが、コロムビアから出ている。

C O C A 1 5 6 7 3 1200円

トボルザークの新世界の「家路」、ホルストの「ジュピター」、マスネの「タイースの瞑想曲」の3曲が、歌入りとカラオケで入っている。楽譜はついていない。キーはオリジナルとは異なると思うが、利用できる。「家路」はD bで入っている。

# ワイド 滋賀ニュース

贈られたハーモニカや教材を手にする渋川小の児童ら



## 渋川小に 友情のハーモニカ贈る

シンガポールの小学校

### 台風で合同演奏会開けず

#### 音楽教材も

#### 礼状送り交流へ

しに」と贈られた。渋川小の児童らはお礼の手紙を送る予定で、ミニハーモニカは音楽の授業で使うことにしている。贈ったのは音楽教育に力を入れているエバークリン小。今月十八日か

草津市の渋川小に二十三日、シンガポールの小学校からハーモニカ二百二十個や教科書が届けた。台風6号の影響で渋川小で予定していた合同演奏会が開けなかったことから、「友情のしるし」三・五枚、幅一センチと、

ら、ハーモニカアンサンブルの児童や教師ら十九人が演奏旅行のために来日。県教委の紹介で二十一日に渋川小を訪ねし、

和谷泰扶先生が指導しておられた、シンガポールの小学校が京都を訪れることになった。先生から、「どこかの小学校を訪問し、交流を深めたい希望を持っている」と聞き、早速滋賀県内の小学校を探してみた。幸い、草津市が今秋に近畿音楽教育研究大会を予定していることを知り、県市に掛け合い上記の草津市立渋川小学校に決定し、後は訪問をするのみとなっていたが、残念ながら台風上陸のため休校。併し、これで終わることなく第2弾を学校側も考えているとのこと、ハーモニカを通じての国際交流が続けばこれ以上の喜びはない。

(淡海ハーモニカクラブ・姉川敏彦)

# 会員異動のお知らせ('04/10月号)

2004/8/11 現在

## 個人情報保護のお知らせ

組織部長

当連盟では名簿を公開しておりますが、本人の申し出があれば個人情報(町名・地番・電話番号等)を非公開にできることが、2004/07/12の常任理事会により決議されました。

会報第160号(2004年7月号)でお知らせ以降の会員異動は、次の通りです。

## 新入会

|   | 氏名     | 〒        | 住所       |         | 電話番号         | 受付日       |
|---|--------|----------|----------|---------|--------------|-----------|
| 1 | 仲井 治夫  | 669-2436 | 篠山市池上    | 566-14  | 079-552-4824 | '04/06/25 |
| 2 | 笠原 憲孝  | 590-0531 | 泉南市岡田    | 6-5-2   | 0724-82-4159 | '04/06/28 |
| 3 | 高山 美千代 | 631-0806 | 奈良市朱雀    | 4-6-21  | 0742-71-8853 | '04/07/05 |
| 4 | 野口 小夜子 | 617-0003 | 向日市森本町石田 | 15-41   |              | '04/07/25 |
| 5 | 大野 泰央  | 584-0073 | 富田林市寺池台  | 2-15-24 | 0721-28-7819 | '04/07/26 |
| 6 |        |          |          |         |              |           |

'03/10/19以降の入会者は'04年度会員となります。

| 退会 | 理由 | 受付 |
|----|----|----|
| 1  |    |    |
| 2  |    |    |

| 住所変更等   | 〒        | 新住所等                          | 電話番号         | 受付        |
|---------|----------|-------------------------------|--------------|-----------|
| 1 豊島 良和 | 663-8015 | 西宮市野間町 3-28-604               | 0798-67-7894 | '04/06/28 |
| 2 和谷 篤樹 | 600-8455 | 京都市下京区(西洞院五条上がる)八幡町 541-1-603 | 075-352-5256 | '04/07/07 |

| 訂正       | 〒        | 訂正住所等     | 訂正番地等        | 訂正電話番号       | 受付        |
|----------|----------|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 1 古田 豊江  | 662-0923 | 西宮市田中町    | 3-1-503      | 0798-26-6364 | '04/06/26 |
| 2 西田 幸司  |          | 神戸市東灘区甲南町 | 4-3-22       |              | '04/07/26 |
| 3 光野 利一郎 |          | 大阪市城東区関目  | 2-18-101-502 |              | '04/07/26 |

現在の会員数は **262** 名です。

お願い；住所・住居表示・電話番号・市外局番等 名簿記載事項の変更は組織部へおしらせ下さい。

## 堺女性大学・教養講座(8月)

下表の日程で開催。午前は10～12時、午後は13時30分～15時30分。無料。直接会場へ。託児あり。コース別の63講座は定例どおり開催。堺女性大学企画運営委員会(女性センター内 堺市女性団体協議会 ☎223-0399 FAX223-1666)。

18日(水)

午後

世界の文化「ハーモニカの魅力・ミニコンサート～愛と平和の音楽を～」関西ハーモニカ連盟副理事・古村則次さん



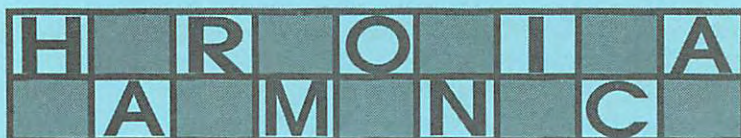
# Mundharmonikachor Laakirchen



## Österreich



LAAKIRCHEN -  
Musizieren mit der Mundharmonika



関西ハーモニカ連盟